京城日報

本紙定價 壹ヶ月七拾五錢 ▲參ヶ月前金貳圓拾五錢 ▲六ヶ月前金四圓拾錢 ▲壹ヶ年前金八圓 ▲郵券代用二割増
廣告料金 五號十五字詰一行一圓五拾錢 同特別二號七字詰 同二圓五拾錢
發行兼編輯人 吉田直毅 印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社

# 十月六日夕刊 (朝夕併せて八頁)

## ◇血腥き露國
### 戰爭に非ず自ら衛る力無き人々を殺戮しつゝあり

伯林發行のロカールアンツァイゲル新聞(獨紙中の首位)は九月中旬に於ける露國の實狀を記載せるが之に依れば莫斯科を中心として血腥の波全國に漲り空氣は血腥く息も塞る許りなり而も之れ戰爭に非ず自ら守る力無き人々を殺戮しつゝあるのみか殺戮は夜毎に行はる。佛國革命に際しても先月露國に見し如き多數の貴族が處刑せられたるを聞かざりき刑の執行の爲めに勞兵會政府の兵士は街頭に整列して殉難者を受け取り而して命令通りに其身を運ぶ事を欲せざる者あれば處刑隊は暴力を以て之を引摺り去るなり殉難者の多くは無用の悲歎を爲す事なく自若として死に就けり地方に於ては婦女子と雖も處刑されつゝあり捕虜の言に依れば或る水兵等は恰もモルヒネ中毒の如く死刑執行の習慣を得何人か殺戮せざれば睡眠する事能はずと各人何れも恐怖に充たされ沈默を守るの外途なく莫斯科は今や何等騷動を見る事なくして全く劍を以て支配せらる(海牙電報)

## ◇露禁酒令解禁か

露國開戰に際し時の露國政府は全國に禁酒令を布き國內の釀造酒貯藏場に對し嚴重なる封印を施し違犯者は嚴罰に處し居りしが今回チエック軍司令官は其の法令を解禁し近く各酒店に對しウオツカの販賣を成さしむ可しと其の販賣は一人に一定の量を制限することなり愈々解禁の曉はウオツカを生命と爲し居りし露人の歡喜は想察するに餘りあり既に浦鹽露人間にては其の一事に對し早くもチエック軍に對し謳歌し居れりと(浦鹽電報)

## ◇支那出兵通告撤回

支那政府は某方面よりの勸告によりアラゴエチエンスクの出兵を中止したる爲め九月二十八日米國代理公使に交渉し出兵の通告を撤回せりと(北京特電)

## ◇歸化鮮人軍隊編成

歸化鮮人の露軍一箇聯隊編成さる可し(浦鹽電報)

## ◇獨帝教書と輿論

獨逸皇帝は祖國黨に教書を送りて曰く『祖國防護の爲め朕の周圍に集まれ』と『獨裁官を置くより外策なし』とはエンケル黨機關紙の意見なるが社會黨、急進黨及び中央黨は『投票に依る內閣の外救濟の途無し』と感じ居れり尚總ての輿論は獨逸の軍事的政治的政策は失敗に歸したりと云ふに一致せり(巴里電報)

## ◇獨逸國民の不滿

獨逸は過去數箇月間に廿五萬人を損失せるより國民は益々不滿の念を抱き居り其同盟國の人心は今や獨逸を離れ悲離しつゝあり(巴里電報)

## ◇獨逸の新聞政策

其筋著電=伯林に於ける發表は獨逸當局の新聞政策に於けるものの如く二十九日以來墺匈國軍隊續々勃國ソフイアに到著しあること、サブオフ將軍新に勃軍總司令官に任ぜらる可きこと、勃國は飽迄中歐同盟に忠實なること、勃國內閣瓦解し前內閣文相ベッレフ內閣組織すること等何れも獨逸に好都合なる報道のみなりしされど十月一日勃國政府公表なりとして瑞西に發表されたるものに據れば『二十九日夜休戰條約成立し全戰線戰鬪行爲停止を發令したり』を以て國民並に軍隊は條約の精神を遵守し敵對行爲を全然中止し米佛と秩序を保ち政府をして平和事業を完ふせしめざる可らず平和は速かに成立すべし』と(東京特電)

## ◇伯林取引所恐慌

勃牙利よりの報道は晴天の霹靂の如く獨逸に來り伯林取引所に大々的恐慌を來し同所開始以來斯の如き甚だしき恐慌を來したる事無し(アムステルダム電報)

## ◇塞米兩軍の捷報

塞軍は二十哩に亘る正面にてヒンデンブルグ線を强襲し十萬の獨兵を驅逐せり、尚東部アルゴンヌにて米軍は前進を繼續し百門の大砲と八千の俘虜を得たり(巴里電報)

## ◇英藏相の講和論

英國藏相ボナー、ロー氏はギルドホルに於て演說し正義は保存せられざる可らずと言ひ講和問題は今や優勝的運命の爐中に於て鍛錬せられつゝありと結論せり(倫敦電報)

## ◇伊軍攻勢に轉ず

華盛頓來電=東京伊國大使館に達せる報に依れば伊軍は目下アルバニヤ戰線に對し攻勢を取りつゝありと(東京特電)

## ◇米軍攻擊開始

ベルセロット將軍はランスの西北に對し攻擊を開始し今やベリオーバツクを距る三哩の地點に達せり(倫敦電報)

## ◇濠州軍敵擊退

倫敦來電=濠洲軍はダマスカス東北にて敵を擊退し千五百の捕虜を獲たりと(東京特電)

## ◇獨墺軍ソフイヤ着

二日維也納よりの報道に據れば獨墺軍は勃國首府ソフイヤに到著せり(アムステルダム特電)

## ◇總理後任物色

總理後任者田文烈氏は內閣組織を好まず總理代理たることをも拒絕せし爲め徐世昌氏は侍使を派し錢能訓氏を訪はしめ後任の內談を遂げたるも病氣なりとて固辭しつゝあり或は閣外より後任を物色する模樣なり(北京特電)

## ◇段と副總統問題

二日參衆兩院議長は副總統問題に就き段總理を訪問せしに段總理は絕對に副總統たる希望なきことを明言し主戰策を維持し湖北を平げ湖南を回復せるは曹錕氏の勇なれば彼を副總統となし其の功勞に報ふ可し尚此の意を議員に告げられ度しと回答せり(上海特電)

## ◇王督軍に要求

浙江、安徽兩督軍代表者は湖南に王督軍を訪へり右は長江三督軍が主和策に就き運動し居れるは對內政策上不利益なるを以て此の際依然一致中央を擁護し武裝防備の方針を以てする事に賛成せられ度き旨を要求するに有り王督軍は之に對し予は和戰共に中央の命令に從ふを以て決して軌道を超る如き行動を取らずと答へたりと(漢口電報)

## ◇支那政界と原內閣

北京政界に於ては原內閣に對し一般に閣員中に支那通多きと殊に內田外相、田中陸相に對し非常なる注意を拂ひ居れり段氏は內閣の對支方針は前內閣の政策を踏襲すべしと觀測し反段派は新內閣が前內閣の援段方針を變更するか或は少くも純然たる傍觀主義に出づべしと觀測し居れり(北京特電)

## ◇リヴオフ公の使命

リヴオフ公は夫人隨員等を隨へ四日夜七時五十分橫濱著オリエンタルホテルに入れるが約一週間滯在の上米國に向ふ筈なり公の談に曰く露國は全露政府が次第に勢力を得つゝあるも未だ混沌狀態を脫せず予の使命は此情態を日米佛等に報告するにあり、露國人の多數は日本の出兵に好感を有せり獨逸は近く聯合軍に屈服す可く露國の確乎たる國家を形成する事は近き將來にあるべしと(東京特電)

## ◇駐日支那公使交迭か

徐世昌氏就任後は章日本駐紮公使を召還し汪大燮氏を後任たらしむるとの說あり(北京特電)

## ◇古賀新拓殖局長官談

古賀拓殖局長官談=予は植民地に關し何等實際的經驗を有せざるも植民地には夙に趣味を感じ相當知識を有し居れりと信ず日本人にて南洋に著目したるは恐らく予が最初なる可し我國の各植民地には總督都督、長官等ありて任地を統治し遺憾なき筈なれば微細なる點に立入り干渉ケ間敷事を爲すは好まざるを以て只管植民地と本國政府との連絡を圓滑ならしむるに努む可く近來我人口殖頗る非常にて人民衣食に窮しつゝあれば其活路を充たさんには我主權の及ぶ範圍外にも求むる要あり之れには相當施設を要するを以て予は其案內役たらん事を期す又我國の植民に關する調査は不完全なるを以て今後植民に關する各方面の新聞、雜誌を取寄せ充分研究の方針にて現拓殖局にては不足なれば擴張の要ありと思惟し居れり(東京特電)

## □白耳義皇帝に御祝電

天皇陛下には白耳義國イープル方面に於ける戰捷に關し本月三日白耳義皇帝陛下に左記御祝電を發せられたり(東京特電)

朕ハ陛下ノ親シク指揮セラルル勇猛ナル軍隊ノイープル方面ニ於ケル戰勝ノ報ニ接シ欣快ニ堪ヘス茲ニ朕ノ熱誠ナル祝意ヲ呈シ併セテ不易ノ友誼ヲ表彰ス

御名

白耳義國皇帝陛下

## ◇軍事救護費增加決定

軍事救護費增加問題は豫て物價騰貴等の狀況に鑑み內務省より各地方廳に通牒して是が報告を徵したるが一方西伯利出征の爲め動員したる第十二師團所管福岡大分山口の三縣下及び第三師團所管愛知岐阜縣下に對しては特に增額の必要を認め調査中なりしが豫て當局は本年度十、十一、十二の三箇月に亘る第三期支出額に對し總額十五萬圓を增加することに決定したり(東京特電)

## ◇東京株式變動

五日東京株式市場先物後場引け値は東株百七十圓十錢東新百三十六圓六十錢郵船百九十八圓五十錢鐘紡二百四十九圓八十錢に漲落高新株九十七圓六十錢並に東拓株八十圓三十錢を唱へ好況なり(東京特電)

## ◎京城下水工事豫算更正
### 總豫算二百十四萬圓

京城府土木係にては府多年の懸案なる下水問題の根本的解決を爲すべく之れが實施設計を樹立し大正七年度より同十一年度迄五箇年繼續事業として工費總豫算六十萬三千圓を計上し總豫算の半額三十萬一千五百圓は之を國庫補助に仰ぎ殘額の一部は京畿道地方費及び京城府にて負擔する事とし本年度に於ける創始費豫算とて一萬六百圓を計上し居りしが

▲時局の影響 を受け諸材料の價格の騰貴は異常の暴進率を示し諸般の經費に大膨脹を來せる結果既定の豫算計畫にては到底豫定の事業を遂行すべき見込立たざる事と爲りしを以て府當局に於ても之れが對策を講じ數回に亘り府協議會を開催して審議する所ありしが結局豫算更正に決し夫々予算中なるところ愈々右に基づく下水事業の設計並に其經費豫算等確立するに至りたるを以て不日發表の運びに至るべし仄聞する所に據れば下水事業工費二百十三萬六千圓を計上し七年度より大正十四年度迄

▲七個年の繼續 事業と爲し既定計畫の五箇年繼續に比すれば二箇年間の延期となれるが總豫算二百十三萬六千圓中百十七萬八千三百圓は國庫補助に仰ぎ六十七萬二千七百圓は京畿道地方費より之を支辨し殘餘の二十八萬五千圓は京城府にて負擔すべく多分左程長期ならざる府債に依り之れが財源に充當すべしと觀測せらる事業計畫は清溪川の浚渫を前計畫より一層深くなし且つ支線下水溝の構造の如きも暗渠の數を增加し多少既定前計畫に修正を加へしものゝ如くなるも大體に於て大差なかるべしと

## ◎手形交換增加

九月中に於ける京城手形交換所の手形交換高は枚數五萬三千九百六十三枚金額二千百四十萬五千五百五十八圓にして七月以降即ち本年下半期の累計は十六萬一千六百八十八枚金額五千九百十三萬一千四百八十七圓なり

## ◎通運店長更迭

內國通運會社重役京城支店長古瀨次郎氏は這回同社東京支店長に榮轉し不日赴任すべく後任は同社大阪支店長矢野菊松氏なりと

## ◎通信機關の設備
### —野田遞相談—

最近に於て通信事務殊に電信電話の澁滯の聲喧しきは遺憾なり

▲事情を取調べ たるに澁滯の原因は第一時局の關係上電信の發達著しく增加したること第二最近風雪等にて各地方に於ける電線の被害を生じ修繕未だ完成せざる等の事情に依るものなり而して一時的被害は兎も角時局關係に依る通信發達等の激增に對しては是非共將來其設備を施し是に應ぜざるべからざるは勿論なるが殊に時局の關係上物資勞銀共に異常の昂騰を來せるを以て假令財政上多少の餘裕ありとするも必ずしも豫期の如き設備を加ふるを得ざる事情あり併し通信事務の澁滯は國家經濟の

▲發展を阻止する ことの大なるを以て出來得る限りの方法を講ずる考へなり目下の狀態を通信の狀況に比する時は其設備は實際の要求の百分の二位に過ぎざる次第なれば其設備の完成と優秀なる技術員の養成に努力せざるべからず此事は今日に始まりたる問題に非ざるも近年に於て多少忽諸に附せられたる傾き無きにしも非ず此儘に放任する時は數年を出でずして通信事務は殆んど行詰るが如き事態を生ずるやの惧ありて予は極力此點に留意し國運の進展に伴ふ必要なる設備を完成せんとす唯其方法及び程度如何に就ては未だ成案なきも遠からず具體的方法を案出する考へなり(東京)

## ◇首相挨拶
### 政友會協議員會席上に於て

五日政友會協議員會席上原首相の爲したる挨拶左の如し(東京特電)

去月廿七日不肖の身を以て內閣組織の大命を拜し二十九日現內閣の成立を見たる次第なるが退いて考ふるに時局如何にも重大にして微力の余の果して

▽此大任を 完うし得るや否や最も憂慮に堪へざる所なり併し乍ら既に局に當りたる以上閣僚諸君と共に專心國家の爲め貢獻せんと欲す我黨諸君は此意を諒とせられ現內閣の爲め深厚なる御援助あらんことを希望す余の所信は機會ある每に世上に公表し居れば今更是を繰返すの必要無かるべく且つ殊更抽象的政綱を掲げて世に示すの必要無し大體に於て現に目前に橫たはる內外多數の問題は速かに相當の解決を爲さゞるべからざることは勿論の次第なるが尚ほ是以外國家永遠の爲めの諸問題即ち我黨の

▽多年主張 し來りたる敎育改善交通の發達及び國防充實の如きは是非共財政と伴なはしめざるべからず而して豫算編成に日無き今日は遺憾ながら十分なる施設を爲すことを得ずと雖も余は野に在ると朝に在るとに於て其所說を二三にするものに非ず余は特に意を此處に注ぎ是れが遂行を期せんことを欲するものなり我黨の諸君は余の言を俟つ迄も無く余の意の存する所をよく諒解し居らるゝことならんと信ずるが故に此場合喋々の辯を費すことを爲さずと雖も歐洲の戰亂既に五年の久しきに亘り

▽直接間接 我國に及ぼす所の影響に依りて爲めに將に我國情を一變せんとするものゝ如し形勢斯の如くなる以上其の如何なる政策を遂行せんとするにせよ必ずよく民意の存する所を考察し依て以て憲政有終の美を濟さんことを期せざるべからず是れ余が就任を披露すると同時に黨員諸君の諒解を求め其後援を得んと欲する次第なりと

## ◎工業動員法事務

十月一日附勅令に依る軍需工業動員法を朝鮮にも施行さる可きに就きては總督府に於ては右に關する事務は一切農商工部商工課に於て之を扱ひ別に課を新設せざる事と爲り居れり

## ◎露貨換算率變更

東清鐵道にては十月三日より日滿聯絡運輸貨物に適用すべき日露貨幣換算率を百圓に付六百五十留に變更せし旨京城管理局に通知ありたり

## ◎京畿大豆粒選成績

京畿道管內に於ける前年度大豆粒選實施後の成績を聞くに粒選したる種子量一萬六千三百五十四石に對する粒選種子作付反別二萬九千百八十七町一反步此の收穫高二十萬七千三百五十二石に上れるが即ち作付反別一反に對し七斗一升の收穫ありたりと

## ◎商銀の拂込終了

朝鮮商業銀行にては十月三日新株第四回拂込成績を以て終了したるが是にて新株式は金額の五十圓の拂込みとなれり

## ◎割引乘車券發賣

京城管理局にては來る十二月より同廿九日に亘り公主嶺外四箇所に於て第五回農產品評會開催に付き出品人に對し證明證引換に往復五割引の乘車券を發賣すべしと

## ◎公州平壤檢事長歸任

平壤覆審法院檢事長松寺竹雄氏は去る三日管內巡視のため出發陽德、成川等を視察し六日歸任したり

## 人事消息

▲武村茂氏(大倉組重役)六日朝退京
▲廣江澤次郎氏(市田オフセツト重役)六日午后八時四十分發大阪へ
▲西村道彥氏(一銀京城支店長)五日出發新任地へ
▲日下義夫氏(一銀京城事務取締役)六日朝金剛山へ
▲本田水原模範場長 六日朝水原へ

## 茶前酒後

◇勃王フエルヂナンドの退位は、獨墺に對して、裏切りの申譯なりと傳へらるゝも、先々月のエコードパリは、勃王が神經衰弱甚だしく病狀理性喪失の形を呈し、到底退位は止むを得ざるべく豫想さると報ず。

◇眞偽未だ知るべからざるも、兎に角勃王が時局に對して、多大の悲觀を懷き居たるは、事實なるもの、如く、彼は平和を欲する切にして、敗戰墺匈國皇帝に對し、其手段を迫れりとも報ぜらる。

◇吾人其の如何は知らざるも、元來フエルヂナンドは『巴爾幹の狐』と稱せられたる智者也。彼の外交は遠交近攻の巧妙を極め、亦其成功を見たり。然れども今回の事たるや、河童の河流れの觀無きに非ず。

◇彼は退位後、維也納に到著せりと報ぜらる。さもあらん、其は當然の勃王の赴くべき計畫也。逃隱也。何となれば王は既に先年、匈牙利に廣大なる土地を買占め、何時か隱遁するも、マゴ付かざるの準備あり。今回は同地方に赴くべく、維也納に到著せしなるべし。王の先見の明ある斯の如し。『巴爾幹の狐』の稱ある所以、即ち斯の如き也。

◇土耳古が敗滅を抱いて、坐して滅亡を見んとし、墺匈國が半死半生に苦しむ時、勃王が決然として、單獨無斷に降を乞ふ。而も此の影響する結果が、如何なるかは、勃王既に知らん、知つて而して之を敢行す、是即ち巴爾幹の狐たる處たるか。

大塊溫相の新任を祝して　遠藤無庵
立派なる富士の姿や秋高し
此經　五條
秋晴に見上る鶴の羽振かな

送天彭詩宗遊燕京　芝峰　佐藤重治
丈夫不許老蒿萊。萬里長程渤海開。夜月聞笳入塞客。秋風彈劍過燕臺。陳琳草檄才。今日中原誰是主。關河搔首獨裴徊。

將游燕京賦別諸友　天彭　初草
落木清霜欲晚秋。浮雲西北一回頭。客中寄劍還多事。三作燕山萬里游。


## 原內閣と期米

正米と相接近せる期米は既に絕頂點に達せり次で來るものは唯低落あるのみ、後藤內閣は極力米價調節に努力し衆望を得んとす可く、加ふるに十二月限は新殼出廻期なれば其低落は既定の事實也、玆に第八回を組織す風雲に乘ぜんとするの士速かに來會せられよ
加入金 一口三十圓 申込期日十月十六日
日本信託商會證券部
第八回 期米賣同氣會
大阪市北區堂島濱通一丁目二 電話北長九七二・振替大阪四〇五六九
▼會則進呈▲

K.D.K.
川北製モーター
五馬力 二臺
十馬力 二臺
十五馬力 二臺
二十馬力 二臺
灌水式
特號精米機 一臺
以上內地出荷不日到着の筈
京城明治町二丁目
株式會社 川北電氣企業社 製品販賣事務所

登錄商標
八千代足袋毛織物類帽子洋靴靴防寒具馬具革具鞄革類卸陸海軍諸官衙御用品
製靴部擴張
防寒靴 學生靴 紳士靴 特價提供
香川縣善通寺町 千葉商會
長距離電話三八 振替口座大阪一二九五番

美雲大嶋
價格廉ニシテ織絣ニ優ル
到ル所呉服店ニアリ

御待兼の十月新譜音譜賣出
NIPPON OPHONE
京城本町二丁目一九
日本蓄音器商會
電話一八三 振替京城六八四

## □可愛い『秋の集り』 佛教日曜學校の催し 非常に賑つた

若草町本願寺なる京城佛教日曜學校では六日午前九時から『秋の集まり』を催した可愛い佛の子達は滿場に溢れ內陣の燈明のまたゝきも彼等の華やかな前途を導いて行くやうである軈て松原總長の手から表彰兒童井口經一、中林京三、久保田君子、藤田芳子、林田雪子に賞品を授與し大津師のお伽噺、活人畫『白虎隊』があつて本社の龍山涙光氏は一席の軍事お伽を試み滿堂の少年少女に涙を絞らせて中食となる午後は獨唱から對話やら活人畫やら次から次へと可愛い催しが續いて四時閉會したが父兄の參觀引きもきらず非常なる盛會であつた

## ◎勃牙利王の退位は 親獨主義の祟 ▽青年時代に獨逸式の軍隊教育を受けたが其の因

外電の報ずるところに據れば勃牙利は無條件にて聯合軍に降り次で國王フエルヂナンドは退位して勃牙利は全く
▽親獨主義、を棄てたこといふ右に就き某消息通は曰く『現勃牙利王は英、白、葡の各皇室と同系で獨逸聯邦中のサクスユーブルヒゴータ公家から分れたものであるが更に之を詳しく云へば白耳義の最初の王樣に子供が二人有て弟は
▽葡萄牙王 となり兄の長男の孫が千八百八十七年に勃牙利公となり千九百八年始めて勃牙利王と稱する樣になつたのであるから系統から云へばプロイセン獨逸と何でもないのであるが現王フエルヂナンドは母クレメンチンの勸めにより國王たる必須條件として先づ
▽墺國陸軍 に入り獨逸式の訓練を受けたので彼れの治世は專制獨裁主義を以て終始一貫し臣下の進言等には一切耳を藉さず却つて內閣をも親獨主義に化せしめた程であつて今次大戰勃發以來極端なる親獨主義を持して來たのであつたところが今夏其の
▽親獨內閣 の倒壞に次ぐに今又獨墺疲弊のために援兵も多くは來ず敗戰に敗戰を重ねて今やウスクブ落ち首府ソフイヤさへ漸く危險に迫つた爲めに嘗て國民の意思に反して中歐同盟國に加擔し恩人である露國に對して刄を向けた責任上今回の
▽退位は當 然の歸結であると云はなければならない之が爲め聯合軍側にとつては策戰上非常に有利になつたことは云ふまでもなく土耳其、墺太利に向つての軍事行動を容易に進めることが出來るやうになつたので反對に獨逸にとつては大いに
▽危險を增 した譯であるがさうかと云つて未だ遽に樂觀は許されない何故ならば獨逸の軍閥は今日でも却々衰微の兆候はなく嘗てヒンツエがキユールマンに取つて代つたのも今またヘルトリングの地位が危いといふのもまだ軍閥の盛んに活躍してゐる證據であつて詰り
▽軍閥派は 今度倒れたならば再び起つことが出來ないこいふことを自覺して居るために最後まで戰ふつもりであらうと思はれる』

## ◎今年は大豐作 內地は六千萬石の豫想 朝鮮は百六十萬石增收 ◇米價は自然に下る!!!

待ち焦れた米の本年第一回の豫想收穫高は二日午後農商務省の發表する所となつて其の數五千八百九十八萬二千九百五十二石を示した前年の實收高に比較して見ても約四百四十萬石即ち八分一厘弱、平年作に比べて約五百十萬石即ち九分四厘の增收である
▽當局者は 語る今回の豫想高は九月二十日現在で從來の實收高に例のない好成績であるばかりでなく大正六年の第二回豫想に比較しても四百萬石も多い其後廿四日に暴風雨があつたけれども僅
▽二三縣に 多少被害があつた丈けで全國の大勢に影響しない豫想と實收との相違は其の年に依つて定まりないのは勿論だが本年は今後異常の險惡な天候でもなければ先づは上々作疑ひ無しだ夫で廿日も經てば新穀がごしぐ出る而も小農の出來が多い丈けに賣惜みなどあらう筈なく米價は此の天候の調節に依つて漸次下落する一方
◇朝鮮米も 本年は昨年より百六十萬石も增收ある見込だし夫れに外米の三百萬石も入れば全國の消費が六千萬石を越る事はないから米の醜澤疑ひなしである

## ◎東郷元帥病む 演習地で發熱 東宮優諚を賜ふ

皇太子殿下に扈從して本月一日以來靜岡大東館に宿泊中の東郷元帥は胃腸を害し三日午後九時より頻に腹痛を感じ發熱甚だしきより靜岡衛戍病院片山院長以下醫員附切同夜は徹宵看護に努め四日朝漸く小康狀態となりたるも同日午前殿下御出發に際し御見送り申上ることはざりし殿下には此趣き聞し召され『早く歸京致せよ』との難有き御諚を賜りたるに依り同元帥は遂に歸京に決し松崎副官を隨へ五日午後零時二十五分靜岡發車にて歸京せり(靜岡特電)

## ◎洞奥に人骨の層 學者の說は斯うだ 越中氷見の鍾乳洞

最近に人骨發掘以來考古學者の好研究資料と目された越中氷見郡宇波村の鍾乳洞には頃日東京京都東北の各大學專門學者が相踵いで集まり來り發掘研究に從事し材料を得て既に歸つたもの多く今尚滯在して
◇研究を續け てゐるのは山崎直方、小金井良精の二博士、東大理科の柴田常惠氏で發掘したのは人骨、石棒、獸骨、角製器環、裝飾物性の繪具、土器、薄刃型の大石斧其他裝身具等である、鍾乳洞は宇波村字大境白山神社境內の洞窟で氷見を距る二里餘の海岸に在り社殿の洞口には鳥居を立て其入口は六尺餘りであるが進むに從つて廣く洞奧が所謂鍾乳洞で連根大の鍾乳が澤山垂下つてゐる、學者達の說を綜合すると此鍾乳洞は幾百萬年かを經過したもので其人骨より察するとアイヌ人で
◇人骨は賑層 を爲し三層までは大和民族、四層より六層まではアイヌ人の骨である、嘗初同海岸に棲息してゐたアイヌ人が大和民族に征服され漸次北海道に逃去つたものなるべく兎に角人類學上の新研究資料として無比の鍾乳洞であると

## ◎金鑛城下の健兒 更に御用船で釜山に上陸

○日朝御用船○○丸にて第三師團○○○○○名上陸大池旅館其他に分宿せり尚引續き第三師團長○○陸軍少將志岐守治氏以下の部隊若干の上陸行はるべし(釜山特電)

## ◎歸化鮮人が軍隊を組織して西部戰場へ遠征 主唱者は元と云ふ舊少尉

九月二十七日浦鹽に於て發行せられる露國新聞に
◇◇突如 『歸化鮮人の軍隊編成』と題する記事が掲載され續いて二十八日全市街に左の如き布告文が掲示されたり
曰く――『第二の母國は我等の努力を期待す』
『愛すべき我鮮人よ、我等の第二の母國たる露國は今や我等の努力を期待しつゝあり、我等茲に奮起して新に軍隊を編成し露國の爲に外敵に當るべし、露國を愛する鮮人は此の危急存亡の際拔つて徵兵に應ずべし
統率司令官 元露國陸軍少尉歸化鮮人『元』』
と記されてあつたが元は嘗て日韓合併當時
◇◇不平 を抱いて露領に走り歸化して軍隊に入り今日に及んだ者で過般ガイダ將軍の來浦に際し親しく面接を乞ひ遂に許可を得て自ら之が隊長となつたのである同人の談に依れば第一回は約一個大隊の軍隊を募集し好成績を擧げた上更に大々的募集をすると云ふ事である、露領に於ける歸化鮮人の現在數は
◇◇浦鹽に一萬、ニコリスクに三千、南烏蘇里地方に約五千、ハバロフスクに三千、ニコラエフスクに一千であるが夏期漁業期に入れば約六倍の數に上るさうである、斯て軍隊を編成した上は所謂第二の母國たる露國擁護の爲に一擧露獨西部戰線に走り獨逸と鋒を交へると云ふのであるが嘗ては露國の大政變に際し內外人は何れも
◇◇生命 財產の保護に頗る懸念し特に日本人は此の鮮人間に最も注意した、無政府狀態である今烏合の勢にせよ蜂起したならば日本人の生命財產は實に風前の燈火同樣の運命となる所であつた今になつてみればそれも杞憂に過ぎず前記の如く露國の爲めに氣焰を揚ける事となつたのは悅ばしい現象である(浦鹽)

## ◎山陰線は年內全通せず 頻りに脫線

鳥取以西の山陰線は開通せるも線路不完全にて頻りに脫線する爲五日より發着時間を變更したるが年內に全線開通の見込みなし(鳥取)

## ◎大森博士の海嘯豫防法 研究完成す

大森博士は曩に暴風雨に伴ふ海嘯の豫防に就き研究しつゝありしが最近之れを完成したれば近く震災豫防調査會に詳細報告の筈なり(東京特電)

## ◎武道講話

警務總監部內武術道場にて來る七日午後四時半より講道館長嘉納治五郎、永岡七段、本田五段三氏の武道講話ある筈

## ◎武智辯護士 訴へらる 背任罪として

平壤府港町宇亭氏は京城府長谷川町辯護士武智弘方氏を相手取り去月三十日京城地方法院に對し背任罪の告訴を提起せしが本事件の裏面には餘程込み入りたる事情あるもの、如し

## ◎風邪まで引いて 齎ぎ込んだ都野川 寫眞班の襲擊を一番氣に病む 薄汚く窶れ切つて兇行後の豪奢は見る由もない

▲惡名も是程轟けば成佛するに足ると迄世人の口に上り內地の米騷動と好個の對照を成すの人騷がせを演じた兇漢都野川も惡運盡きて手錠を箝められ
動物園の 虎のやうに世間に面を晒される段になると聊か哀れを催させぬでもない▲大阪で逮捕されて以來と云ふものは新聞記事と寫眞班の襲擊を氣に病むこと一通りでなく全く悄氣て了ひ其上に
風邪迄引いて 愈よ齎ぎ込むやうになつた▲下關署では同地新聞社の寫眞班が連絡船の上に控へて居て棧橋から船に昇つて來るところを正面からカメラを差し附けたので夫以來愈よ神經質になり黒の
ソウト帽 を目深に冠り始終俯向いて居た▲記者が水原驛に邀へた五日の晩なども車中彼は二ツに曲るやうに俯向ひて手錠の腕を時々顏に當てゝ居たそして
首の邊りが垢 じみて青白く汚れて居るところを見ると之れが陸軍豫備少尉で強盜殺人を敢てし全鮮を震駭せしめた兇惡無類の犯人とは思はれない位だ▲光つた衣服を着て居ても兇行後數日間豪華を極めた時とは見違へるやうに
影が薄い やがては陰鬱の人となり而して恐ろしい罪の勘定を拂はねばならない彼れ都野川、自動車を驅つて豪遊した時と…を以て護送される時、教育あり地位ある彼としては萬感胸に迫るものがあつたか

## 徹宵取調 ▲身柄は忠信と共に▲ 今朝檢事局へ

▲強盜殺し犯人都野川義雄が五日夜本町警察署に護送さるゝ迄の光景は前刊を以て詳報したが犯人は同署に到着した時は既に山澤檢事も出張して居り小松警部からの報告を受け一室に於て直ちに犯人に對する訊問を開き殆んど徹宵取調を繼續し六日朝八時犯人都野川は自動車を以て檢事局に送られ情婦忠信も亦檢事局に引渡されて了つて全鮮は愚か下の關大阪迄も騷がせた殺人強盜事件も之で警察の手から裁判所の手に移り警察は大きな厄介拂ひをしたとになる

## ◎日清役の砲彈 沈沒艦から引き揚げた

日淸戰爭の際威海衛沖に沈沒せる定遠艦より二吋三砲を引揚げ、大連に輸送し來れる處其砲內に實彈を裝置しあるを發見せるが、危險なれば多分爆發せしむ可し(大連)

## ◎酒席の刄傷

大邱弓町大工職增木初藏(三二)方にて去四日夜九時頃慶州居住の原籍年齡不詳の大工職向島茂一及山下某と主客三人飲中口論を初め茂一は懷中せし白鞘の短刀にて初藏の面部に斬付け鼻及び下顎部並に胸部に負傷せしめし騷ぎに茂一は其場より拘引され被害者は慈惠醫院に收容せしが生命に別條なしと(大邱)

## ◎東大門運動會

打續く運動日和に少年少女の胸は躍る六日の日曜日も午前九時から東大門小學校で大運動會が開かれた郊外の秋は快よく澄み渡り爽かな樂隊の音は誘ひ込むやうに人足を引いてさしもに廣き校庭も爪も立たぬ大盛況『環競爭』や『尋常一年の』『兵隊ごつこ』其他『中島太郎』『小若丸』など大いに歡迎され午後四時無事盛況裡に解散

## ◎茨城縣下の疑獄 長者議員選擧の怪事實 知名の士多數拘引せらる

今春茨城縣下長者議員選擧に際し前議員高崎三重郎氏は憲政派上村支部の公認を受けて再起したるに對し新たに互選資格を獲得したる竹內權兵衛氏も亦候補を宣言して制を爭ふこととなり此處に政黨對財閥の一大決戰となり遂に一票一萬圓を以て賣買せられたりとの風評ありたる程なるが選擧の結果は兩者同點にて結局竹內氏年長の故を以て當選せり而かも前記の如く競爭激甚なりし爲め買收饗應等隨所に行はれ如何なる選擧に於ても未だ嘗て見ざる大々的の醜態を演じたるものなれば其筋にては二月十二日以來大活動を開始し遂に十月一日竹內氏及び同派に屬する知名の人士多數拘禁せらるゝに至れり決着迄には尙ほ數箇月を要すべく目下の處有資格者中無事なるは僅に五名に過ぎず(水戶特電)

## ◇哈府の停車場 獨墺の俘虜が掃除して居る

ハバロフスクの驛に著いて見ると驛頭には露助の間に支那人がゐる、朝鮮人が居る相變らずの西伯利趣味、一人北靑生れのバシカを着た朝鮮人が來て『何か一つ金儲けを見付けて吳れ』と頼んだが自分が從軍記者だと知つて失望して歸つた、支那人の雜貨屋に商品の値段を訊くと『此の二箇月間といふものは戰爭のお蔭で物資拂底品物が不廢くて困る』といふ、水道の口では日本兵士が飯盒を洗ふ、洗濯をする、その間を獨墺の俘虜が掃除してゐる、驛には露國の國旗が樹てられてはあるがあたりは全然日本兵の劍光帽影、驛長室の入口には『ハバロフスク停車場司令官』の文字が貼られてある(金谷生)

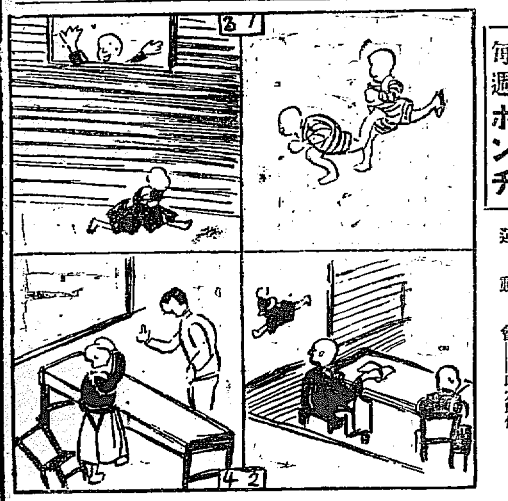
## ◎秋季種痘施行

本町警察署管內に於ては今般秋季種痘を施行せしむるため各區內に夫々通知を發したるが生後九十日以上の未種痘者及び種痘善感後五年を經過したるもの並に初痘者にして不善感なりしものは各集合區域の施行場所に就き種痘及び檢痘を受く可しと因に施行場所は明治町元漢城病院跡なりと

## ◎阿片で靴

三日朝浦鹽から入港の越後丸で元山に歸着した支那人苦力百餘名中又復阿片の密輸入者が十數名發見せられた然も大々的の密輸入で殆んど靴の全部を阿片を以て造つたもの或は極めて巧妙に毛布の中に阿片の細い絲を織り込んだもの又は西瓜の中に入れてウマク食つ付けて抱へて居たもの抔其方法も頗る巧妙だと云ふ(元山)

## 毎週ポンチ 運動會――助太郎作



(一)十月に入つて何處の小學校でも運動會の催しがあるので凸坊團藏、茶目助の連中大悅び暇さへあれば運動場で練習をしてゐる、(二)期日が近まるにつれて練習は猛烈になつてくる先生も一生懸命體操の時間に時々競爭をさせて悅んでゐる、(三)今日も茶目助は體操の時間に同組の連中と走り比べをしてゐる一方凸坊は算術の時間で難題にぶつつかつて頭をあつちに傾けこつちに捻つて考へてゐた丁度運動場でワーツと云ふ聲がしたので窓側からヒヨイと覗くとやつてゐる〳〵仲よしの茶目助が先頭に一同一生懸命走つてゐる(四)算術の難問題はどこへやら競爭に無中になつてゐた凸坊、茶目助が先登第一決勝點に著いたので思はず窓の內で萬歲、同時に先生の『コラツ』と云ふ聲が大きく響いた

## 電話讓物 千臺 三〇一〇番へ

◎乃木記念會特派員講演 乃木記念會特派員吉田幸雄氏は豫てより乃木將軍に關する通俗講演を爲し各地方を巡歷し到る處好評を博し來りしが氏は五日入京數日間滯在の上各所に於て講演を爲すべく左の通り六日午前九時より龍山七十八聯隊同日午後七時より七十九聯隊に於て七日は午後七時より龍山鐵道俱樂部に於て八日は軍人俱樂部に於て講演を試むべしと

## 大掃除 ‖七日‖

左記各町は大掃除を施行すべし
黃金町四丁目及三丁目の一部、林町、花園町、初音町、櫻町、芳山町、黃金町五丁目

## 演藝案內

本町三丁目 壽座 電話五七八番
當る十月七日より 日本一節劇元祖浪花政吉一行 ▲前狂言 三日月次郎吉通し ▲切狂言 義士傳忠僕直助續き

有樂館 活動寫眞常設館 人情劇 故鄉の母 五卷

本町二丁目 詩館 電話一〇五〇
第三 灰色の幽靈 大活劇 唖娘 全八卷

櫻井町 大正館 電話八七三 當る十月四日より秋季特別大興行
滑稽デブ君の僥倖 絕海奇談『孤島の花』

黃金館 電話二二六二・二二六七 新派悲劇 金色夜叉 疑問の死 先驅の叫び

明治町二丁目 浪花館 電話二六〇番 京阪落語若手大一座

京城本町五 文樂座 電話二三八番

りん病 淋病消渇で困る方切手三錢送れ多年の慢性も自宅で秘密に治す妙藥を無代で敎ゆ 名古屋南かじや町 武藤龜吉

セキトメ新藥 ゴホン錠 本劑ハ呼吸器病・特効藥ニシテ鉄ニ・肺尖カタル・喘息・肺結核ノ咳及百日咳ヲ全治ス 岡本秋雄 岡本和雄 合製 振替大阪四四四七六

職業 原紙貸與 三見商會總本店

新古 ストーブ 煙突其他附屬品一式 古物問屋 有好商店 電話一五四六番

國產「フエラトーゼ」として帝國醫科大學病院及各府縣立病院の御賞用を添ふせる

ブルトーゼを召せ 正しき補血强壯增進劑 種類 ブルトーゼ 補血强壯增進劑 アルゼンブルトーゼ 神經性疾患特効劑 ヨードブルトーゼ 黴毒性疾患特効劑 グヤコールブルトーゼ 呼吸器系疾患特効劑 キナブルトーゼ 健胃性補血强壯劑 ●一瓶容量二五〇瓦入(約半ケ月分) ●各地信用ある藥店にあり 發賣元 大阪道修町 東京本町 藤澤商店 說明書進呈

花柳病外科專門 梅毒・淋病・泌尿生殖器病・睾丸病・肛門病・皮膚病・婦人病・神經衰弱・ヒステリー 京城南大門通農工銀行裏 司生堂醫院 電話三〇六五番 606

逃ぐる犯人を捕へんとして

去月二十三日黄海道海州郡島嶼山[illegible]る事判明せり今其[illegible]が韓巡査の[illegible]恰も休暇を得て歸宅の途中なりし[illegible]守なるものより昨年陰曆七月[illegible]日に穀物を買取し與ふべしと詐稱[illegible]時頃は尹補助員に向つて『自分は[illegible]つて貰ひたい、二個月の後には必[illegible]しむることになるから今二個月待[illegible]

▲妻子を斬る [illegible]

▲逃走を企て [illegible]尹補助員は之を追ひかけ乍ら石を[illegible]

▲其場に絶息 [illegible]其儘逃走せり然るに所轄海州警察[illegible]引率して自宅潜伏中の犯人を逮捕せりと

時報　氣象

[illegible]

# ○朝鮮紡織と將來の事業

## 今工場は差當り京城へ

朝鮮紡織會社長　馬越恭平氏談

社用を帶びて約一週間の豫定を以つて來鮮せし朝鮮紡織社長の談に曰く(釜山)

現下日本內地に於ける紡績界の發展と好況は實に素晴らしきものにして幾多の諸事業中一頭地を抜きたる觀を呈し居れり北投資額に於ても數千萬圓に上るものあり斯界の投資總額は實に億を以つて計ふべきなり而して之等會社の營業狀態は頗る好成績にて最低の配當率を見るも一割五分を下らず殊に鐘紡、富士の如きは最も優秀なるものにして鐘紡は七割の配當を爲したるも

### 其實十二割の利益を得たる

有樣にて其殷盛なる又想像するに難からざるなり然りと雖も現在の戰時狀態は無限の者に非ず必ずや平和の暁は下されて吾が紡績界にも影響あるは論を俟たざる處にして實業家の深く留意し且つ覺悟を要するは勿論なり此點に於て

### 朝鮮は棉花の栽培

に適し且つ工賃の安価なる原料不足の場合と雖も近く滿蒙支那と接續せる關係ありて紡績としては所謂天與の適地と謂はざる可らず而して本社工場設置の位置は

### 京城、木浦、釜山

の三箇所の計畫なるが戰亂に依る影響として機械類の輸入意の如くならず米國より購入の方法なきにしも非ざるも斯界の機械としては英國製のもの最も卓越せるを以て過般より種々

### 苦心中の處幸にも

從來上海行きの契約ありしと云ふ機械を讓受くる事に決定したるを以て明年一月中には受け渡しを終るべく而して之が据付けは六月迄に終了せしむ可き豫定なり故に將來は京城、釜山、木浦の三箇所以外

### 其他適當の地にて

工場の設置をも爲す豫定なれども機械類輸入の關係上今回は第一著手として一箇所のみ設置する筈なり而して之れが

### 指定地は未だ

確定するに至らず今回自ら入京の上要路の士の意見も聽き打ち合せの上決定する積りなるが多分將來の都合上京城に設置するに至る可きか尚近く

### 繰綿工場の設置

も實現せしむる筈にて三井物產と本社と相折半して投資現在の麗水工場の如きを買收し同地方大邱釜山地方に繼設する筈なり云ふ迄もなく工業の難易は動力の如何に依るものなるを以て吾社に於ても出來得る限り水力を應用すべく研究中なりと之と相俟つて著目すべきは

### 原料の自作自給

にあり然れ共幸ひにして朝鮮は原料を得るに難からざる天與の地なるを失はざるを以て誠に喜ぶべき事なるも之れが栽培を細民にのみ委するは策の得たるものに非ざるを以て當局より

### 驛屯土を最も低價

に拂下を受け充分に獎勵し原料の自給に努力したき考へなり(釜山)

# 北鮮みやげ

## 小學生の果樹栽培

憲兵司令部高級副官　太田少佐談

余は過般來總長に隨從して北鮮各地の巡察を爲したるが今回の出張中に於て最も余を感動せしめたるものは小學校生徒の果樹栽培なり之等生徒の栽培は北鮮地方の各學校何れも共通の現象にして學校職員等皆其指導の任に當り生徒をして作業を分擔せしめ居れり而して一面實地に就き植物學を教授し實踐的教育に努めつゝあるを以て其の成績も良好なるが又夫等生徒の手に成れる林檎梨等の果實は京城附近に於て口にするものに比し美味なり特に鏡城の小學校に於ける如上の勸農教育は殆ど理想的の成績を收め生徒の作業狀態及び收穫の結果並に實驗に基づく修養の效果等實に卓越せるものあり

### 鯨が減て鮎が殖た

余は明治四十年來朝鮮にありて北鮮方面に旅行せる事尠からず從つて元山淸津間の航海は屢々之を試みたるが從前は此の航海中に於て鯨群の出沒する珍らしからざりしが今次の航海に於ては鯨の片影をだも認めず如何なる原因に依るやは知らざるも其の減少は予に取り頗る奇異に感ぜられたり又鮎の多き事も意想外にして東海岸の各川を悉く鮎を產すと云ふも過言に非ず蓋し鮎は鮮人の嗜好に適せず自然今日に至るまで多く世に知られざりしならんも其の豐富なるは驚く許りなり

### 不便至極の馬車

予等は新浦に於て偶然にも地方出張の途にありし覆審法院の中村檢事長と出會したるが同氏の談に依れば新浦には二臺の馬車あるも七里の道程を走るに七時間を要すと云ふが如き遲鈍なるものにて坂路にさしかゝれば乘客皆馬車より降りて後押しを爲すと云ふ有樣なれば其の不快は言語に絶せり寧ろ無きに如かざる程のものなりとの事なりしを以て余等は馬に乘る事を避けたるが斯かる不便なる馬車を當てにする地方旅行者は定めし迷惑する事なるべしと思考したり

# 慶北共進會

## 協贊會事業と設備

(續)　協贊會長　中野大邱府尹談

◆手荷物預所　協贊會は觀覽者其他一般の便宜の爲共進會正門前の第一賣店に接續して手荷物預かり所を設け携帶品の一時預かりを爲すべし但し杖、小形の手提等は共進會場內に携帶するを妨げざるものと知るべし、手荷物の外自轉車預かり所は別に協贊會より設置し希望者の申出に因り適當の場所を正門前附近に選定し敷地を貸與して一定の預料を以て觀客其他の委託を引受けしむる計畫にして尚ほ協贊會は一般の便宜の爲め是亦正門前附近適當の地點を選び人力車駐車場をも設けんとの計畫中にあり

◆地上模型　協贊會は南鮮の大都市として慶尚北道商工業の中樞たる大邱府の全體及び道內各主要地の經濟的關係を一目瞭然たらしむるの趣向を以て會場第一號館の傍に精巧なる地上模型を設く其大きさ六十二尺中央に大邱市街の全景を收め停車場、諸官衙、學校、兵營、公園其他の名所、寺院、教會等重なる工場等は一々標識を示し土地の高低遠近は言ふも更なり繁茂せる櫟、ポプラの形、人馬の往來、櫛比せる商店町並の形狀より兒童の釣する附近まで小河の流に至るまで細大洩すなく又大邱と重なる慶州、金泉、慶山、漆谷其他の市邑は其周圍に悉く之を現示し鐵道々路の貫通、汽車、自動車、牛馬車の往來等迄微細に之を示さゞるなく大邱が穰々たる一大平野の中央に位して各地に對し如何に重要なる經濟關係の樞軸を握れるかを知らしめんとす

◆繪はがき　協贊會は會期中三枚一組の優美なる繪はがきを發行すべし市場と達城公園の寫眞に本道の主要產物なる稻穗をあしらへるもの一、共進會本館、正門及び其前通り並に評判の慶南館の各寫眞に時節の雛菊をあしらへるもの一、本道の重要物產なる林檎園及び桑園の寫眞に葉莨蠶繭をあしらへるもの一、都合三枚は八度刷の極彩色とし一組づゝ美麗なる袋に收む會期中は會場其他各所に之を需むることを得べければ之に記念スタンプを押捺し好個の記念品とすべし

# ◆昨今の市　米と果物の山(淸州)

忠北物資の中心點たる淸州市場は昨今穀類食鹽果實白布の取引盛んにして彼處此處米の山、林檎柿栗の山をなし四通八達の市場も殆んど露店を以て埋められ殊に近郊より來たれる群集の爲め毎午市前十一時より午後四時の間は殆んど戰場の如く混雜言はん方なし毎市雜穀の出高は二百石內外にして最近新穀の出荷不尠目下取引しつゝある諸物價の相場左の如し

[illegible]一般良好にて凶作なれば比較的廉價にして牛蒡百匁二錢大根大一本一錢白菜一把一錢葱百匁三錢[illegible]一貫三十錢位の相場なり之れ等は概ね支那人の手より栽培せられ品質優良なり而して食鹽の如きは逐次需用の期も切迫せるが其價格は漸次高騰を示せるにより一般多大の苦痛を感ぜるもの、如し(淸州)

# ○幾らでも炭坑の

◆ある國境の慶源郡◆

國境慶源郡管內には石炭礦區多くして到る處礦脈の露出を見るの有樣なるより近來採礦者の入込み來り探礦するもの夥しきが今日まで既に礦區の出願を見たるもの麻生音波氏の六十礦區を筆頭として八十餘礦區に達するの盛況なるが同地方炭質は一般に良好にして會寧炭と異なる所なしと云ふ(淸津)

# ○往も復も材木

長崎市磯部木材店にては嚢に同地三菱造船所納めとして琿春材を移入せるが其成績良好なりしより今回富山縣新湊町南島商行所有の汽船神湊丸(七八七噸)を傭船して木材輸送を爲す事となり同船は第一次航として去月二十七日淸津に入港即日長崎に向け直航せるが同船は百餘本を積載して十月二日淸津港に北航西水羅に赴き琿春材一千八[illegible]は今後數回來航して木材搬出を爲すべしと(淸津)

# ○滿洲と蜜柑

滿洲及び附近に於ける果物の豐作と內地輸送の停滯は滿洲果物をして突飛なる安價を現出し一般同業をして大なる損害を蒙らしめたる次第なるが斯くては本年冬季に於ける柑橘の賣行き等甚だ按じらるゝものあり何にせよ年々百萬圓の輸入を見つゝある柑橘が若し賣行遲滯を來す事あらば忽ち內地の相場にも影響多大なるべし同業者には已に目下の現狀を杞憂し滿洲各地を視察し若し其の需用の減少等依然不可能なる見當付かば何分手控への必要あるべしと爲し精密なる調査を行ひつゝあるものあり其形勢今の所甚だ不安視されつゝあり(奉天)

○北鮮と間島の豆　北鮮及び間島地方の白豆元豆は昨今弗々市に出廻るを見つゝあるが作品は昨今米國の輸入制限令發布の影響に依り大分軟調なるも間島及び國境方面に於ける產地相場は依然として高値を保ち九月三十日迄は石十七圓五十錢乃至十八圓なりしが十月一日には二十圓に奔騰せるが之れ產地商人が無暗に先高を見越して買煽りを爲せしが爲なりと(淸津)

# ○慶州城

## 新羅の古王都

文學士　小田省吾氏談

慶州は朝鮮の名邑なり探勝の騷客は常に踵を絶たず然るに其の邑城の築造年代は東國輿地勝覽、東京雜記、增補文獻備考何れも之を闕如す頃者慶州公立普通學校長大坂金太郎氏慶州鄕土資料研究の故を以て來りて余に之を質す余直ちに之に答ふること能はず又調査の遑なし由て加藤灌覺氏に依頼して心當りの諸書中より材料を蒐收し僅に本考を草して之が責を塞ぐ若し併せて同地遺跡研究者の參考ともならば望外の幸ひなり高麗史を按ずるに左の記事あり

兵志城堡の條に曰く『顯宗三年城慶州長州金壤』と蓋し慶州築城の史に見ゆる最初なるべし長州は今の咸興定平郡の一部にして金壤は今の江原道通川也而して同書を按ずるに地理志東京留守の條に『顯宗三年廢留守官、降爲慶州防禦使』とあり始め新羅國除かるゝや高麗は其の國都を以て慶州となし之に大都督府を置きしが成宗の六年改めて東京留守となせり是に至り留守官を廢して防禦使を置きしかば始めて築城の必要を感じたるものなるべし次に奎章閣(今朝鮮總督府參事官分室)所藏の慶尚道地理志並に慶尚道續撰地理志を閲するに左の記事あり

慶州邑城　周廻六百七十九步內廣二十五結五十九ト、井八十(慶尚道地理志)

山城邑城の條　府邑城　石築周廻四千七十五尺高十二尺七寸、有軍倉、洪武戊午改築、池三、井八、冬夏不渇(同上續撰慶州府條)

右續撰地理志の記事頗る要領を得之に依りて始めて洪武戊午改築のことありしを知る洪武戊午は即ち高麗末朝辛禑王の四年にして顯宗三年を去ること三百六十六なり抑々慶尚道地理志並に慶尚道續撰地理志に付ては曾て朝鮮總督府中樞院囑託文學博士三浦周行氏之を世に紹介せられたれば今改めて詳述するの要なきも何れも固く府庫に藏せらるゝ珍書にして世間に流布せざる所なるを以て聊か之に付き一言すべし

# ★飛行機

## 大邱の空に飛ばんとす

協贊會長　中野大邱府尹談

十月三十一日より大邱に開會せらるべき慶北共進會に於ける餘興中の呼物たる飛行機に關し中野大邱協贊會長(府尹)は曰く『小說的想像の下に置かれたる空中戰は端なくも二十世紀初頭の飛行機の發明と其後に於ける幾多の改良とに依りて今や世界の大戰に實現せられ敵情の偵察に城砦の破壞に飛行機は常に偉大なる效果を顯はし地上に於ける攻城野戰の先驅として缺く可らざる重要の位置を占め世界の戰術に一大變化を與ふるに至れり、されば此世界的研究の題材たる飛行機の改良發達は日に月に著しく一日の進步に遲るゝものは一日の敗者たらざるを得ず故に今の時に於て一般に航空思想の普及を圖るは一刻も忽にすべからざるの情勢となれり慶北共進會の開期二十日中會場に出入する觀客は日々數萬の多きに上るべく此機會に於て飛行機の效用を目のあたり知らしめんとするは實に協贊會の最も力を注げる第一の施設なり飛行機飛揚の一事は協贊會成立の當初に於て逸早く決定せられ爾來同會は飛行界の各方面に交涉を重ね竟に民間飛行家として將た飛行機製作家として知られたる航空界の驍將伊藤音次郎君の快諾を得たり同君が活動寫眞を見て奮起せし立志談は嘗ねて聞く所なるが氏が熱心なる航空上の研究は將來多數の飛行機、水上飛行機の製作と共に著々其功果を收め今や權威ある獨立の飛行家として其自製に係る飛行機一臺を有す同機は『惠美號』と名づくるグレゴ、アジツ式四十五馬力を附せる複葉トラクタ式にして今次の大邱飛行に携帶せんとするものは實に此の惠美號なり共進會會期中の飛揚場は大邱市街の西南方臥龍山麓の練兵場約二萬坪の地域を以て之に充て一般に對し無料にて飛揚場を開放し自由に滑走飛揚を試み其都度機首を北にして會場及び全市を見舞ふべしとの事なれば觀客は會期中何時にても容易に之を青空に仰ぎ見るを得べく操機者の雄姿を載せたる大鵬は毎朝の曉の雲霄を劈き勇ましき爆音と雄大なる雨翼の唸りとを以て市民の殘夢を驚かさん(大邱)

# ○理事殺害事件

## 迷宮に入る

### 强盜では無いらしい

### 歸來せる某氏の談

去月二十二日午前二時頃北江界邑金融組合理事西山粲氏が自宅にて何者にか慘殺され同氏夫人に重傷を負はせたる事は當時の紙上に報道せし處なるが其後の模樣に就て現場を實見し同地憲兵分隊に於ては晝夜一同寢食を忘れ犯人の搜擧に努力しつゝあるが現場の模樣より察するに强盜の所爲にあらざるものゝ如しといへるが兇行を發見せしは同家に使役せる鮮人童某が午前七時頃毎時の如く朝來りたるに平素は早起の西山氏が寢室にあるものゝ如く殊に

### 寢室に當りて咄々

聞きしにコハ如何に鮮血に染みたる苦悶の聲聞ゆるより早速障子をあけたる西山氏が死骸の上に重なりたる夫人の端の起あるに大に驚き即刻憲兵分隊へ急報したれば時を移さず隊員現場に急行し夫人に對し應急の手當を施すと同時に一面犯人の搜索に努めたり現場を檢するに西山氏は[illegible]

### 大なる裂傷を受け

居れ夫人は右耳下部に裂傷を受け居たり而して現場には兇行に用ひたる斧の如きもの一挺あるのみにて他に何等有力なる證據品としての遺留品なく傍に少しも亂れたる形跡なく[illegible]分隊にては現場の模樣を見て即ち枕元にありし金側懷中時計の其儘なりしと其他に於て

### 何一つ紛失物なく

是等の點より察するに强盜の所爲にあらざるべしと鑑定されつゝあり而して此處に疑問とするは兇器たる鋭利なる斧は分隊に於て探査の結果同邑內原田雜貨店の使用品なることを判明せしより

### 兎に角嫌疑者と

して金融組合使用人及び原田雜貨店主其他支那人數名を引致取調中なるが原田某其他二三名は其後釋放されたるもの、如し要するに金品の紛失し居らざる點より見るに强盜にあらずして

### 或は金錢貸借關係

より意恨を挾める者の仕業にあらざるかとも言ひ又は支那人とも言ひ全く事件は迷宮に入りたるが其筋の活動と共に意外の方面より犯人の檢擧を見るならん

### 而して夫人は直に

米人經營の病院に收容し治療中なるが生命には別條なかるべきも兩三日間は夢中にて漸く二十四日頃正氣に復せしより當に兇行當夜の樣子を聽取したるに自分としては熟睡中異樣の音聲に驚き蒲團を引つ被りしが

### 其後は何事も知ず

と語れる由なれども尚ほ同情に堪へざるは主人西山氏の殺害されしを知らざる夫人は終始宅に向け負傷をして居りませうかと頻りと夫人をして顧り傷はしめたりとは氣の毒の至りなり

### 西山夫妻の平生は

溫厚篤實にして一般の氣受け良く人に怨恨を受くる樣の人にあらずと邑民は何れも今回の兇變に就て不審の眉を顰め居れりと(平壤)

# ○姦夫を謀殺し

◇女房を取られた恨で◇

平安北道義城郡三興面遠洞當時奉天省寬甸縣祥和堡居住農宋應心(三八)は昨年十二月頃より同地方を徘徊し居たる庶下者姜贊起を農事の手傳ひに雇入れ同居せしむる事となりしが何時しか姜は宋の妻金姓女と不義をなしたる結果姜は金女を唆かして驅落を勸め遂に金女は六歳になる子供を置去にして姦夫姦婦は奉天省通化縣青川に居る支那人白某方を便りて落延び夫婦氣取りでゐた所一方夫の宋は百方苦心の末居所を探知し甥の宋贊基と共に通化に到り姦夫姦婦を取押へたる上姜を制縛して歸鄕の途に就き途中北谷嶺と稱する處へ來りしとき姜は宋に對し此の儘朝鮮に歸らば必ず憲兵隊に引渡さるゝは必定なれば一寸も動かぬと稱して動かぬより宋は大いに憤り携へ居たる棍棒を取り直し姜の臀部腰部の嫌ひなく亂打し遂に棍棒が折れたるより甥の贊基も見兼ねて止めたるより今度は左右の手を縛したる紐を以て姜の左足を緊縛し少しも動けぬ樣にして同所に放棄したる儘妻の金女と甥の贊基と相携へて歸鄕したるが後にて姜は其後間もなく死亡したるより此事發覺し宋は安東縣領事館警察の手に捕へられ同領事裁判にて豫審中の處傷害致死罪として關東都督府の公判に附せられ同被告たる甥の宋贊基は證憑不充分にて免訴となりたり(安東縣)

## 黑山白水

▲從來滿洲方面へ來る各種の職工は大抵朝鮮を經由して來る▲即ち滿洲に於ける內地人職工の供給地は朝鮮であつた▲處が昨年末頃から朝鮮方面から滿洲渡りの職人がピッタリ止まつて終つた▲床屋、洋服屋、大工、左官、菓子屋、印刷屋其他各方面の親方連は困つて終つた▲これは乾度滿洲よりも朝鮮の方が收入が好いので夫れで滿洲に來なくなつたのであらうと▲それで或る親方はこの頃ワザ〳〵朝鮮まで出掛て職人を引つ張つて來ようとしたが▲實際は朝鮮にも職人は餘らず昨年以來皆んな內地の方へ逆戾りで▲それでも朝鮮にも職人拂底で困つて居る▲それは朝鮮には朝鮮人職工が居るからまだいゝが滿洲に渡つて來る鮮人は皆んな不良分子で迚も使へないといふ事だ(大連)

## 張三李四

◆兵士に梨三個づゝ◆　成興步兵七十四聯隊演習に對し同地退潮面民は有志協議の上特產成興梨を兵士一人につき三個づゝを聯隊全部へ寄贈せりとは感ずべし

◆吝みつたれな賭賂◆　夜提灯なしで荷車を押し巡査補に咎められ廿錢出して詫たるも聽かれず引致の上科料に處せられたる憐け者は淸津の人夫權誠極(三七)

◆沙里院の賭博事件◆　沙里院賭博事件第二審にて木田政吉(懲役三月)田內宗吉(罰金百廿圓)東乙吉、江淵富松、今富耕之助(同六十圓)の判決言渡しありたり

◆切符の資金盜難◆　天安驛にて列車到著の爲め混雜中出札係の保管金百三十餘圓何者にか窃取されたるが一二箇月前芙江にても同樣の被害ありしとは物騷

## 台所　其の日ぐく

◆美容肉◆　赤身白身の混つた豚肉を膾に切り、醤油、メリケン粉[illegible]鮮醬と共に肉をかきまぜながら、油で炒り、玉子をかけ焦さぬやうに裏返し、別に糸葱を油で炒り、鹽をふりたるを皿の下敷にして其の上に乘せて供す

# 毛谷村六助　卅六番角力

第廿七席　桃川桂玉口演　浪上義三郎速記

微塵彈正は老婆お里の後へ廻り一刀の柄に手がかゝつたかと思ふと抜き打ざまに斬込む逆袈裟、ギャッと一聲此の世の別れ、底も測らぬ深水へ血煙諸共落ちて行く『微性根の惡い此の婆、生かして置いては發顯の原、恁うして置けば後腐惱めず、死骸は野獸犬鴉の振舞、爲すましたりと肯きながら刀の血を拭つてパッチリ鞘に納め、其儘小倉の城下へ出たが、手續を以て試合を願ひ出ました、係りの役人は否とは思へど此儀を六助方へ告げると素より六助は承知をして居りますことだ、此の試合を承知いたしました、太守益時侯は惡奸の策略とは知らず微塵彈正の願ひの趣きを取上げて愈六助と立合をさせることになりました、

その當日に至ると毛谷村より呼出したる六助、天野小傳の案內にて毎時の如く驛前の控へ所に休憩いたす、此方彼の微塵彈正衣服を改め黑紋附に麻上下、年齢と云ひ其の骨柄此者ならばやわか六助に敗れは取るまいと思はる、面魂、出坐に相成る太守益時侯其他重役近侍の者數十名殿の左右に居並ぶ元來益時侯は賢明の人ではない、只彈正の人品に目を玉ふ樣子、此方は六助相變らず黑木綿の衣服、短き袴を穿き兩手を突き平伏爲して居る態、彈正に比ぶれば如何にも見すぼらしき有樣、差添の天野小傳も此の勝負は如何あらんと案ずる程、勿論其の內情は知るべき筈もございません、家老立花將監より太守へ言上爲す、太守は詞をお待衆の樣子　益『あゝ彈正と申すか、予が目通りに於て此の六助と立合、其方勝を得る時は約束通り召し抱へ遣はす、勿論勝負は尋常にいたせ』と仰あれば、ハッと兩手を支ゑる彈正、答へもなき樣子、太守は重ねて　益『苦しうない直答を許す』ハッと彈正は面を擧げ『微塵無敵浮浪の私御直答は恐れ入り奉ります、然し再度の上意故申上げ奉りまする、相手六助と云へるは傳へ承はるに神傳の武藝とござりまする、又私は肉親の父より讓り受けたる微塵流、未だ未熟の事なれば只だ勝敗は天運に任せ、仰せの如く堂々に仕ります る』と申し立たる其の聲音爽にしてよどみなく、如何にも天晴の人物らしい、太守は御機嫌の態、益『コリヤ六助、今日の相手は微塵流の遣ひ手微塵彈正と申する者ぢや、其方も用意に及べ』六『畏まり奉る』と輕く答へて六助は次に退つて直支度、彈正も肩を刎ね股立を取上げ裸鉢卷、黄金木綿の袋より取出せしは彼の筋鐵入りの木劍素より彼は勝ちを讓つて來る約束、恐れる氣毫も無し、然し生置いては後難も圖られず、讓るを幸ひ一劍の下に腦を碎き打殺さん身分は輕き高が百姓武藝とならば咎めのあらう筈も無し、是こそ時節到來と心に喜び設けの席へ控へる、六助も小太刀を提げ靜に其處に現はれ、六『さア今日は此者に勝を讓り此後は最早窮屈な思ひをせずに濟むわイ』と素より正直無慾の者、其場に直つて一禮を爲す、互に小聲にて姓名を名乘り、エイと云ひさま左右に分る、勝敗は如何にと殿を始め一同の御家來目を見開き此方を凝視て居りまする、約束なれば微塵彈正二三合打合はす、此時御近侍の面々○『何うだ中村劇しい立合だな、何方が勝つだらう』△『何れ強い方が勝つて居る』○『それは貴殿が申さずとも知れた事、此の按排では微塵先生が勝つだらう』△『イヤ然うでない、總て突掛けの劇しいのは永く保たないものだ、拙者は六助が勝つと思ふ』と云つて居りまする、六助は稍暫くあしらつて居りましたが、最早ぞと思ひヤッと一聲氣合を掛けました

# ○安東縣近事

▼鴨江造船近況　鴨綠江造船株式會社に於ては目下二百噸級の帆船二隻を建造中なるが內第二號は本月十四五日頃第三號は本年結氷期前には進水を終るべく工事を急ぎつゝありと

▼第三寶運初航　高見造船所に於て建造したる第三寶運丸二百十噸は艤裝を終り去る二日試運轉をなしたるが成績良好なりしを以て不日船主に引き渡し木材を滿載して靑島に向け處女航海に上るべしと

▼五寶運進水期　高見造船所に於て目下建造中なる第五寶運丸七百噸は本月二十日頃進水式を擧行すべしと因に鴨綠江畔に於ける七百噸級の新造船は本船を以て嚆矢とすと云ふ

▼歸、去、來　無限公司業務擔當者式村茂氏は四日午後六時半內地へ滿鮮商業聯合會議へ臨席の爲め大連出張中なりし藤平泰一氏は三日午前著列車にて歸安三井物產安東出張所佐久間次席は三日午前大連へ出張せり

▼出張と歸國と　南滿鐵材公司主任高橋英記氏は三日午後發列車にて奉天へ鈴木安東出張主任南場之助氏は四日午後發京城に安東基督教牧師小島末喜氏は四日午前發列車にて內地へ歸還したりと

▼三重縣鮮滿視察團　三重縣鮮滿視察團二十二名は來る七日午前十時四十分著列車にて安東通過北方に向ふべし福井縣同上視察團十五名は十二日午前六時三十分北方より來り南行する豫定なりと

外科　皮膚科　泌尿器科　花柳病科　一般
安部修二
京城永樂町二丁目金光教會隣
安部醫院
長電話四一九番

十月八日　九星　舊九月四日　戊子　木命　九紫　南　浦　赤口

[illegible]

八紘に輝く日章旗は
我帝國隆榮の表徴
効驗卓絶せる仁丹は
健胃保健の最良劑
消化と毒けし
仁丹
醫學博士三輪先生 醫學博士井上先生 御方劑
本舖 大阪市 森下博藥房
金言
愛國心は大義に基き大德に因らざるべからず
（ボーリンブルック）
金言容器と共に
仁丹二十錢包
に添附する
藥量十錢包の二倍半入
（名所カード實物大圖）
Itsukushima
慰問袋に仁丹
隊

# 京城日報

# 朝鮮同胞に告ぐ（三）

京城日報

## 日本旨義特に神道に就き

## 神道の本體（中）

吾人は前號に於て、神道は日本國民に共通なる大精神たることを揚げたり。今や此の精神とは果して何者なるやを解說するの必要あり、是れ實に本論の主眼たるを以て、讀者に向つて愼重に考慮を望む。

日本民族はいふまでもなく、多數個人の集合體なりと雖も、其の單位は之れを個人の上に置かずして、之れを家族の上に置くことは前にも之れを言へり。此の家族を單位とすることは、西洋諸國に類例のなき所にして、實に東洋の特色なり。日本政教本論著者（本社長加藤房藏）はいふ、人類を集結して一團たらしむる最も強き力は血族關係なり。此の關係は他の何等の關係よりも最も普著にして又最も永久的なり。故に一家族擴大して氏族を成し、一氏族擴大にした一民族を成し、其の一大民族より成立せる一國ありとせば、其國は即ち同根同血より出でたる一大家族に外ならざるを以て、集團結合の鞏固なる之れに比すべきもの無し。此の血族關體たる一國家にして、全民族が噂仰して宗家と爲す所のものあれば、其の宗家は即ち天縱にして、國家の中心に位するものなり。而して全民族は期せずして此の中心點に向つて集中すべし。ブルンチユリー曰く、世襲の君主は、國家の全力を其の一身に會むるものなりと。全民族の中樞たらざる單行の世襲君主も尙國家の重きを爲すに足る、況んや全民族の宗室にして、天地と共に正統を有つものをや。故に此の關係の下に結合する國民の團結力は、極めて穩健に、極めて鞏靱にして國家の基礎は牢乎不拔なり、云々と。即ち日本民族なる集合體は、天祖以來一系の天皇に依りて統攝せられ、以て健實無比の發達を遂げたるものにして、獨り國法學的の意味に於いて然るのみならず、社會的に於いても亦然り、倫理的に於いても亦然り、宗教的に於いても亦然り。而も是れ理論にあらずして事實なり。過去に於て然るが如く、現在に於いても更に彰明較著にして、未來千萬世の末に至るまで無限に存續し、且つ一段々々の發達を遂ぐる所のものならざるべからず。之を離れて日本旨義なく、又日本國民性あることなし。

國民の個々には各人格を具ふ。人格は個性を表明するものなるを以て、彼は彼にして、我は我たり。自他の間に差別の念を挾み、こゝに個々の小精神を生ず。既に差別の念あり、個々の小精神の間に衝突なき能はず、何となれば我の利益とする所は、彼の利益とする所にあらず、彼の快樂とする所は、我の欲望する所にあらず。人事百端、利害好惡錯綜するが故に、小精神の奔馳するまゝに一任し去らば一家の和平すら保つ能はず、況んや國家社會の大なるものをや。是に於て個々の精神を統理して、一家の和平を保つもの、之を家族的精神といふ。國語に之を『家風』と稱す。家風も亦個々に分立し、相互排著の虞あるを以て、之を總統攝理する更に大なる精神を要す之れを國民性といふ。即ち國民性は日本國民に共通なる大精神の宿る所にして、別言せば日本國民の大人格なり。而して日本國民の大人格は、天祖以來、萬世一系の天皇に依りて表現せらる。大人格に生死なし、故に一に之れを神格と稱す。天皇の御歷代は國初以降百二十餘を算すと雖も、是れ個體性格の天皇は永劫一體なり。英國の諺に『國君は死せず』といふ、之を我邦に移し來たれば、更に適切穩實なるを覺ゆ。

日本國民信仰の中心は天祖の御上に在ること、今更言を須ゐず。國民は實に天祖の民族精神を統攝し、千古萬古に亙りて、六合を照臨したまふを信ず。而して之を事實の上に表現することは、天皇の御身に於いて之を見る。言葉を換へていへば、神武天皇も天祖と御一體なり、明治天皇も神武天皇と一體なり、今上も亦明治天皇と御一體なり。百廿有餘の列聖は悉く天祖の顯現ならざるはなし、後千萬世を經るとも決して濫ることなし、故に古來天皇を稱へまつるに『現神』の語を以てするは、單に其の尊嚴を形容するのみならず國民眞個の衷情、天祖に對しまつると同じく、天皇が瞻仰歸向の中心たるを表示するものなり。かくて皇室は一面に於いては、日本民族の大宗室たると共に、他面に於いて國民信仰の中心と爲り、國民的大精神の統攝者と爲り、表現者と爲り、一國の全力の會萃點と爲り、以て吾人の上に臨みたまふなり。

# 小作培養論（三）

中井錦城

三穀物の改良を爲すには新事業を起すに在り、即ち田畑の地味を向上せしむるを以て先となす、試みに朝鮮の田畑と內地の田畑を比較するに、其の肥瘠實に天壤の差あるを見る、今其然る所以を考ふれば、朝鮮の小作人は轉々流浪して、三年以上一箇所に留まるもの少し、爲めに其の耕地を愛するの念を缺き、從つて其の地味の改善を圖らざるに因る、而し其小作人の流浪するは、地主と小作人の間に仲介する、舍音と稱する周旋者の誅求甚だしきに基く、即ち小作人が折角肥料を入れて、地味を改善し、收穫を增加すれば、舍音は直ちに其小作料を引上げ、若し之を納入せざるに於ては、他の小作人を擧げて之に代らしむる故、何人も好んで地味の改善を圖るものなく、小作人の常に轉換する所以實にこれが爲めなり

然れども因襲の久しき、今俄に舍音を廢する能はざるの事情もあるべく、又之を廢さば、地主に取つて甚だ不便なるものあらん、依て東拓會社は十餘所も出張所を有することなれば、之をして信託事業を開始せしめ、土地の賣買を始めとし、小作料の取立等に至るまで一切會社をして之を引受けしむることゝなすべし、斯くせば舍音の弊害を一掃し、地主をして安じて其の土地を所有し、又小作人も誅求を免れ、茲に其の耕地に土著し地味の改善に力を盡くすに至るべし、地味にして一度改善せられんか、全國の生產額は忽ち倍蓰すべきなり

次は養豚會社の發企となす、朝鮮の荒蕪地を開墾し、其の地味を改善せんと欲せば、勢ひ畜類の排泄物に依らざるを得ず、是れ養豚會社組織の必要ある所以とす、從來朝鮮にては豚肉の價牛肉より高價なれば、肉類の價格騰貴する時に當つては、豚肉の販賣愈々利益あるべし、聞く獨逸が其のブレーメン附近の荒蕪地を開墾するや、土地開墾に先だちて、養豚を行ひ、即ち大なる豚小屋を作り、千頭以上の豚を飼養し、是より利益を擧げつゝ、其の糞尿が窒素分に富み肥料として價値大なるを幸ひに、之を以て荒蕪地に施肥し、其の肥料の出來る毎に、荒蕪地の開墾を擴め、漸次之を肥沃の土地に化せしめたり、此の如く一方に於ては養豚事業を經營し、一方に於ては開墾事業を經營せば、收支相償ふて餘りありと謂ふ、朝鮮に於いても例へば始興東野の荒蕪地を開墾するに、此の養豚の方法を以てすれば、初期の飼料は之を京城、仁川、永登浦、水原に求め得べきを以て、其の飼養容易なるべく、從つて其の排泄物を施肥すれば、從つて荒蕪地の地味を改善するを得べし、是れ一擧兩得と謂ふべきなり。

次は牛肉の罐詰會社となす、今や東京市と廣島市の陸軍糧秣廠に於ては、毎日三十頭宛の牛を屠殺し、軍用罐詰を製造する計畫なりと、然るに內地に於ける牛肉の價格は近來著しく騰貴せるより、到底罐詰を製造すべからずと謂ふ、されば比較的牛畜の廉價なる朝鮮に於て、罐詰會社を起し、會社の役員は總督府の指命に從ひ、且つ掛官の臨檢を乞うて、官衙の信用を博し、茲に軍用罐詰の製造に從事し之を陸軍に納入することせば、陸軍に於ても廉價を以て罐詰を得らるべく、加ふるに其の用地の大陸にして製造することなれば、其の運送も亦便利なるべく、會社も亦之に依つて利益を收得すべし、此の如くせば、從來百三十五萬頭の牛畜は、或は增加して二百萬頭以上も飼養するに至るべきか、從つて之より得らるべき牛糞は之を堆肥として畑地の肥料に供せらるべし

次は產馬會社の發企となす、思ふに將來朝鮮に於ては必ず軍馬產成所の設置あるべく、其時に當つては民間より幼馬を購入すべけれど如何にせん朝鮮馬は體軀倭小にして到底軍馬に適せざれば、今より內地種の牡馬と蒙古種の牝馬を買入置き、體格偉大なる强馬を作出すの必要を見る、且つ近來朝鮮の道路は次第に改造せられ、追々四輪車を運轉するを得るに至れるが、今日の朝鮮馬にてはとても積載量に富む四輪車をひく能はざれば、產馬會社の力を以て、續々蒙古馬を輸入し、其の必要に應ぜざるべからず、之を聞く、米國の廣大なる土地を開發し、其の物質的文明の進步を爲したものは唯運搬の用に供せらるる馬匹の力に依れりと、果して然らば朝鮮を開發するにも、彼の運搬力に乏しき朝鮮馬を驅除して、そが根絕を期し、之に代ふるに牽引力ある優良の馬を以てすべきなり、斯くして優良なる馬を多數飼養するに至れば、之を耕馬として使用するを得べく、又其の糞尿は肥料として耕地の改善に供せらるべし、是れ

發行兼編輯人　東田直
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
定價　一箇月六拾錢
廣告料金

# 邂逅

## 虐待（十三）

佐々木峯雪

惣兵衛は躍る庄吉を膝の下へ捻り伏せて、思ひ態惡も繼ぎ手に腕を捩り付けた、庄吉は見る〱眼の色を變へ、身を悶はせて、血の出るやうな細い聲を無理にも絞り出して

『か、堪忍して下さい……』と、『堪忍して下さいよ………』哀れも絕れ〲であつた。

『なに驚、これでも懲りんか』と、これでも、わりや折檻するや直き堪忍々々と吐しやがるが、口ばかりの堪忍が藥にもなるかい、よう乃公を踏み付けやがつた、あれ程寸は貰はずに貰つて來い、そんな呑氣な金があつたら乃公の酒をかつて來いと吩付けたぢやないか、なんだか酒が說い、思や斯うだ、こらッ何うでそんなに云ふ事を聞か無いんだい』事によると

もう乃公は面倒見無いぞ

『はい』と蟲のやうな聲で云つたが、淚が先になつて云ひ得無かつた

『こらッ』と太く『われ無性して吐しやがら無いと打ん擲るぞ』

『わ、ッ』と庄吉の聲は益々慄へた。

『早う吐せ』

『はい』と淚の顏を撫げて『叔父さん隣で貰つて來いとお云ひだけれど、隣の宅でも呉れ無いんだもの』

と、庄吉の青白い頰には五條六條の淚の跡が、幽かに洋燈の光りに宸れを增した。

『何んだと、隣で呉れ無い』

『はい』

『呉れ無かつたら盜んで來い』

『わ、』と庄吉は目をまるうして

『盜んで…………』

『さうだい、それ位に氣が注か無い間抜けが何になるんだい』

『けど叔父さん、他人の物盜んだら警察へ行かにやなりません』

『阿呆云へ、そんな巡査見たやうな奴に引かれるやうな手下藝でどうするんだい』

『だつて盜人なんぞに………』と庄吉は怨めし氣に惣兵衛の顏を覷上げた。

『馬鹿』と噛み付くやうに『世の中を正直に渡つて甘い汁が吸へると思ふかい、今大阪で一山なす身代に成つてけつかる奴等は、みんな盜人半分だい、地道で働いて日に一兩の金が殘るもんかい、よし殘つても一年で四百萬圓足らずぢやないかい、世の中を正直に渡る奴程間抜は無いやい』

『…………』庄吉は默つて聞いてゐた。

『いやによつて』われも明日から性根を入れ代へて、步く道にも氣を附け、通る店先にも心を配いて落し物でもあつたらそれを拾ひ、店頭に人が居無いやうだつたら、金に成りさうな品を攫つ攫つて來い、合點か』

『…………』

『こらッ默つてけつかるな、』よし默つて居る所を見ると嫌と吐すのだな、それなら斯うぢや』惣兵衛は又始めて居た手を、又元のやうに捩ぢ入れて膝の下へぐつと捻込んで、續け樣三ッ四ッ打ち叩いた。

『ひツ………』庄吉の痛さに果は斗擧げた悲鳴の聲は、枯草叢に啼く蟲より細い。

『やい庄坊、これでも乃公の云ふ事を聞かんか』

『叔父さん、僕聞きます…………』

『聞く』と振り上げて居た拳を膝の上へ下して『ぢや明日から日一兩の仕事をして乃公に甘い酒飮ますか』

『はい……』

『必とか』

『はい……』と口を切つて『けど叔父さん、盜み取り爲るだけは堪忍して下さい』

『なんだと』と惣兵衛は目を剝いて『盜み取り爲るなア御免だと』

『はい…………』

『そやさうして日一兩の金を拵へるんだ』

『僕叔父さん外に心當りがあります』

『心當りがある………』と頻りに庄吉を見詰めて『まア何うでもいゝや、それぢや明日から日一兩必ずだぞ』

『はい』庄吉の返事は淋しかつた

中秋分韻得微　成田　魯石

芋栗滿盤由上扉。嫦娥何意情淸輝。秋心只有風雲惡。一曲誰能唱羽衣。

學鷗曰、幽暗描情景、筆有化機。

中秋分韻得肴　大島　奇山

卿卿蟲聲滿四郊。月娥猶未上林梢。去來雲影太無頼。空擲詩毫貪酒肴。

學鷗曰、又是實現、不傷雅也

偶成

忙裡登間間発忙。稷稷豪氣仰穹蒼。豺虎頻到風雲惡。挪腕月前看稽劍。

學鷗曰、音響壯勁

再羽山女史十三週忌

玉樓高起想夫憐。耳底猶存颯颯琹。方值中秋儀當日。孤衾夢冷十三年

學鷗曰、句句流暢、愁緒不盡

中秋分韻得虞　栗原　華陽

佃見晴乎又雨乎。一年久待此宵娛。探題拈定句難定。擱筆詩毫對酒壺。

學鷗曰、起承人人所欲言、言得甚敏、轉結奇想

中秋分韻得東　江原　如水

欲擲瓊盤付草蟲。密前叢灰發吟窮。纖纖曲上痴雲散。遮莫清光萬里同。

學鷗曰、字不虛設、不似嘲嗟之作

◎露西亞研究の良參考書◎
東京外國語學校教授　八杉貞利著
露西亞語學階梯（第五版）
洋裝四六判　正價金一圓三十錢　郵稅內地金八錢　臺灣樺太金十二錢　朝鮮支那金十二錢

前露國大使館附牧師　グレーボフ編
露國神學士　岩澤丙吉譯
增改訂版　露西亞文法（再版）
洋裝菊版　正價金一圓　郵稅內地金十二錢　臺灣樺太金二十錢　朝鮮支那金四十錢

東京外國語學校教授　八杉貞利著
簡易日露會話（第二版）
洋裝ポケット形　正價金六十五錢　郵稅內地金四錢　臺灣樺太金四錢　朝鮮支那金四錢

昇曙夢著
露國近代文藝提要（最新刊）
洋裝四六判　正價金一圓八十錢　郵稅內地金十六錢　臺灣樺太金十八錢　朝鮮支那金拾六錢

松本苦味編
トルストイ露語讀本（新刊）
洋裝四六判　正價金八十錢　郵稅內地金八錢　臺灣樺太金六錢　朝鮮支那金六錢

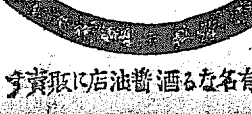
發行所　東京市日本橋區通三丁目　振替東京三八番　大倉書店
賣捌所　大連市大山通　京城本町一丁目　大阪屋號書店

書畫練習及研究の鑑賞模範的月刊雜誌
拾月號出
書道及畫道
毎月一日發行　定價一冊五錢　郵稅一錢　前金半年參圓九拾錢
前田默鳳翁　翁の用筆法
本誌合本六冊出來
發兌　東京神田錦町　一松堂

實業之日本
西伯利派遣軍撤兵期　林毅陸
西伯利で商賣には…　梅田潔
清酒釀造禁止せよ…　博士
大利ある再製銑鐵
新に勃興せる各會社の盛況を評す
小賣商人の研究すべき二問題
余の觀たる○○太…　社長
物價騰貴と爲替資金の缺乏
勞働組合必要の時代來る
我工業界新方向の拓者
勞○者法　博士
成金税の筆頭（人名金額）銘々調べ
知事井上と市長田尻
誤解論…　新渡戶博士
有熱患者の食養法　近藤博士
骨炭食用療法…　醫學士
南米アマゾン河畔の日本町　小川涉
十月一日發行　一冊十八錢　郵稅一錢　半年分弍圓七十錢　一年分五圓　東京京橋　實業之日本社　振替東京三二六

十月號
夢の世界
不動貯金問題　露探問題　回顧其他　重要問題滿載
夢の世界社

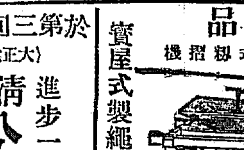
宮內省御用達
日本一
品質の良いこと
千葉縣銚子港　濱口儀兵衛釀造の
ヤマサ醬油を
必ず　お使ひなされば　家庭圓滿
各地有名なる酒醬油店に販賣す



歷史と地理　秋季特別號
植民號
開國と云ふ語に關する知見　文學博士　內田銀藏
歐人の海外發展と傳道　文學士　植村清之助
西班牙植民地の盛衰　文學士　山鹿誠之助
印度に於ける英佛二國の植民　東京高師教授　齋藤斐章
滿洲と蒙古との資料　滿鐵社員文學士　田中秀作
植民と地理教育　廣島高師教授　西田
植民地と砂糖業　文學士　下田
植民字考　長崎高商教授　文學士　武藤長藏
樺太の植民　廣島高師教授　中目覺
臺灣の理蕃事業　栗野秀德
北支那旅行記　學習院教授文學士　遠藤
歸化植物より見たる植民地　平山常太郎
クロンヱウルの植民政策　慶應大學教授　阿部秀助
航海條令と英國の植民　竹林熊彥
佛國の印度支那占據　京大講師文學士　長壽吉
京都　同攻會　歷史地理

廣告
鐵鑛　鐵鑛石　鑛區
右多少に不拘高價買入す
平壤本町　岩田商店

丸三商會
電氣モートル
清水式無砂精米機
福岡博多



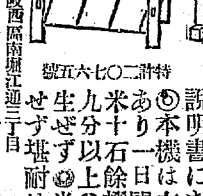
法人登記公告
平澤出張所

法人登記
長湍出張所

於第三回帝國勸業共進會（大正七年八月濱松市ニテ）
進步一等賞金牌受領
清酒　松上鶴
有功一等賞金牌受領
清酒　武國
釀造元　丸三合資會社
大邱府幸町

天下一品
回轉稻扱機　特許二七八三九號

下廻式粉摺機　特許二〇七六五號



寶屋式製繩機製造發賣元
大阪西區南堀江通三丁目
寶屋商店
◎本機は帝國隨一の專賣特許にして無責任なる出來機にあらず詳細は說明書にあり
◎本機は左の特あり　一日間摺米十石餘　歩合九分以上　碎米を生ぜず　米質を五百に堪耐せず

## ◇三地戒嚴令施行
### ガ將軍ブリヤード族捕縛執行

スイダ將軍は貝加爾鐵道沿線イルリツク、ウエルフネウヂンスタフナタ間一帶に戒嚴令を布けり 尚チタ、ウエルフネウヂンスク附近一帶のブリヤード族に對して大捕縛行はれブリヤード族はセミヨノフ大佐に救援を請へり(齊多特電)

## ◇獨白國戰線撤退

獨逸は白耳義の戰線を撤退せんとして各種の準備を爲しつゝあり(桑港電報)

## ◇支那對過激抗議

支那政府は過激派軍が烏拉特近郊に從業せる支那人三千人を戰線に使役し三百人の戰死四百人の負傷者を出せるに對し嚴重なる抗議を爲す旨を宣明せり(北京特電)

## ◇曹平和會議計畫

曹錕氏の副總統說は段派の流布せるものにて信ずるに足らず 曹氏は岳州張懷芝氏等と漢口に平和會議を開催する計畫中にて長江筋三督軍各省商務總會を網羅し大會議を開き主題として南北同時に停戰命令を發し順次妥協條件を議する豫定なりと(漢口電報)

## ◇陸總理就任說

支那の總理後任には田錢兩氏を推擧しつゝあるも兩氏固辭するより結局現外交總長陸徵祥氏總理となり章駐日公使外交總長たる可しとの說あり(北京特電)

## ◇リヴォフ公渡米使命

リヴォフ公渡米の使命は米國が過激派を過信せる爲め從來種々行違ひを生ぜるより過激派の眞相を闡明し以て過激派に對する米國從來の過信を除かんが爲なりと(東京特電)

## ◇內田外相外交方針說明
### —對露支策と新內閣—

內田新外相は二日各國大公使に對し就任の挨拶を爲し外交の大體方針に言及せるが右は從來の修約、條約を尊重し締盟各國との親善關係は益々深厚を加ふべき旨を述べ對露對支の實際政策に就ては新內閣として別に見るところを實施すべしと聲明せり(東京特電)

## ◇文官任用令改正か
### 參政官制度廢止されん

政府は官吏登用の途を開く可く文官任用令改正の意あり愛に設置されたる參政官制度に反對せる理由に基づき同制度を廢止すると共に特別任用範圍を擴大せんとし自然植民地關係にも及ぶ可しと(東京特電)

## ◇外調員補缺 寺內伯後藤男

外交調査員補缺の爲め改めて寺內伯後藤男を政府より奏薦す可しとの說あり(東京特電)

## ◇政友會兩總務 對國民黨交涉

政友會の野田、元田兩總務は四日午後二時國民黨本部を訪ひ兒島箕川兩氏と會見し從來の友黨關係繼續に就き交渉せり(東京特電)

## ◇鮮人師範學校

ニコリスクウスリスカヤにて朝鮮人の師範學校を設立し露國在住の朝鮮人教育に當らんとする計畫あり(敦賀電報)

## ◇パリモンド氏

露國人パリモンド氏は今回早稲田大學講師に聘せられ近く來朝の筈(東京電)

◇米國赤十字會 [illegible]

## ◇安東小學落成式

安東小學校新築落成祝賀式は六日午前十時同校庭に於て擧行さる一同參席するや君が代の唱歌に次いで田中保線主任の工事報告、管理者森地方事務所長の式辭、松原民團議長、石原義州府尹、王道尹、陶梁木公司理事長、吉田新義州、谷口鎭逓山兩校長の祝辭、鈴木安東校長の謝辭あり夫れより校庭の宴會場に於て立食の宴あり終りて一同新校舍內の教育展覽會を參觀し正午頃散會せり(安東特電)

## ◎金融組合業務監督規程

地方金融組合業務監督規程中改正の件は十月一日附官報號外總督府令第九十號を以て發布されたるが右に依れば從來の『地方金融組合業務監督規程』とありしを地方の二字を削りて單に『金融組合業務監督規程』に改め第七條第八條第十一條第廿八條第四十五條第五十八條第六十條の七箇條は全部削除したり而して金融組合が(一)訴訟の提起を爲さんとする時(二)常務の爲めにするにあらずして役員を組合の區域外に出張せしめんとするとき(三)事務員を任免せんとするとき(四)業務用土地建物を取得し處分し又は借入れんとすること(五)預り金及び貸附金の利子步合又は手形の割引步合を定め

△又は變更 せんとすること(六)貨物の保管料又は保管期間の標準を定め又は變更せんとすること(七)缺損に歸すべき債權を整理せんとすること又は債務辨濟の爲め引受けたる物件を處分せんとするとき(八)財產目錄に掲記したる財產の價額を增加せんとする時の場合は必ず地方長官の認可を受くること、但し金融組合令第五條第二項の組合即ち總督指定市街地金融組合に在りては一組合員に對する貸付け及び手形割引の總額は五百圓を超過することを得ず尙又

△前項以外 の組合に在りては一組合員に對する貸付けの總額は百圓を超過することを得ずされども(一)開墾、排水、灌漑其他土地の改良資金(二)自作用土地の購入資金又は自作用土地を擔保としたる舊債の償還に要する資金(三)住宅以外の農業用建物の新築改築、移築、修繕又は購入に要する資金等各號に該當する資金にして不動產を擔保とする時は四百圓迄を貸付けするを得と爲したり貸付の期間は指定市街地の金融組合にありては六箇月內其他の組合にありては一年內とす但し相當の事由あるときは其一部を返還し且つ利子の支拂を怠らざる者に限り其期間を

△更新する ことを可能とせり尙前記不動產擔保貸付は十五年內の年賦償還又は五年內の定期償還の方法に依る事を得と爲し而して金融組合聯合會に於ては一、業務、給與、服務及び懲戒に關する諸規程を制定し又は變更せんとするとき二、決損補塡準備金又は特別準備金を使用せんとするとき三、預り金及び貸付金の利子步合を定め又は變更せんとするとき(四)國債證券又は地方債證券を買入れ又は賣却せんとするときは總督の認可を受くることとなし

△聯合會は 少くとも每年一回以上所屬組合又は法人に就き業務の調查を爲すこと、爲したり

## ◎我國民活動の能率を增進せしむる方法(二)
### 嘉納氏の講演

此文學者と斯德嘉で行はれたオリムピック大會で懇意になつた關係から私はそれから先づボヘミヤの首都プラーグに出掛た、其處で例のボヘミヤ人の文學者を訪ねると其人は大變親切に持てなして私を方々へ伴れて行つて案內して吳れた。私は擧て此地方には獨逸語で敎へる大學とボヘミヤの言葉で敎へる大學とがあつて其中でも獨逸語の大學の方が何かの點に於いて優れて居ると云ふことを聞いて居たので出來ることならば此獨逸語の大學の方を十分に見たいと思つて居た、所が私の案內者の文學者先生は色々の方面へ可嚀に紹介して吳れるけれども學校は何うしてもボヘミヤ語の方でなければ案內しなかつたそれ程獨逸側即ち墺太利人に對して惡感情を懷いて居るのである。ボヘミヤには獨逸と同種の墺太利人と彼のチエック族などが居る。單にボヘミヤ人と云へば此チエックを指すことになるのであるチエックの軍隊が現に聯合軍に加擔して西伯利方面の花形として活動して居るのも其胚胎する所は長年月の間に釀された所の

**墺國人に對する** 反感にあるのである。又ボヘミヤには墺國が是を統治する爲に皇族か何かを送つて總督の如きものを置いて居る併し其他の官吏は大概ボヘミヤ人である所が私が或る時此地方の一官吏と會た際に右の事情を知らずに此れも墺國人だらうと思つて、ボヘミヤに在る獨逸語を用ひる學校を見たいものだと話した、すると其後で例の私の友達が穩かならぬ面持ちでやつて來たさうして貴方が今話をしたのはボヘミヤ人である、是れから後は決して彼の樣なことを云つてはいけない、小つぽけな學校なぞ見なくたつて可いではないか、それは醜い樣で忠告を受けた其處で初めて自分の不注意であつたこと後悔したことがある。是程双方が

**相反撥する感情** を持ちながら今迄墺匈國と云ふ一國を形成して居るのは矢張國家存立上の脅威があるからである。瑞西の樣に小さくつても獨立して居る國が全く無いではないが、それは格段な地理上の關係其他特別の事情に基づくもので普通の聯合世界の大勢として小國が大國と對抗して獨立し發展しやうと云ふことは到底不可能である。次に私が蘇格蘭に參つた時に又復失策をやつた。グラスゴーの西北に當つて湖水がある。ローモンドと云つて湖水が通して了つた其處を船で渡つた折の出來事である、元來何處の國でも船の中では乘合の人々とはよく懇意になるものである、此時にも私は或一人の客と非常に親しくなつて

**色々と打解けた** 話をしたりなどした。一體日本では大英帝國のことも英蘭と威西と蘇格蘭と愛蘭を合せた合衆王國のことも又所謂大不列顚のことも一樣に英吉利と呼ぶ習慣なので、私は蒲中此事情を知らぬでは無かつたけれども、覺らず口を滑らしてイングランドと云つたことがある

## ◎朝鮮の面積と耕地地價

朝鮮の陸地面積並にその耕地面積は土地調査の結果何れも確定せるが右に付朝鮮內地臺灣樺太の總面積は四萬四千零廿三方里となり本土並に植民地別は左の如くなる由

▲陸地面積比較

| | |
|---|---|
| 朝鮮 | 一萬四千三百十二方里 |
| 內地 | 二萬五千零三十九方里 |
| 臺灣 | 二千三百三十二方里 |
| 樺太 | 二千三百四十方里 |
| 計 | 四萬四千零二十三方里 |

乃ち朝鮮の面積は帝國陸地總面積の約三分の一を有するを知り得べく內地に比し一萬一千方里狹少なれどこれを臺灣並に樺太に比すれば六倍強の面積に達し居れり

▲耕地比較

| | |
|---|---|
| 朝鮮 | 四、三三七、一〇四町步 |
| 內地 | 五、二七一、七三六 |
| 臺灣 | 六九八、九四七 |
| 樺太 | 五、八五三 |
| 計 | 一〇、三一三、六四〇 |

▲地價何程 過般の本紙に大野臨時土地調查局監査官の談として朝鮮の市街地並に耕地(市街地は五十三萬四千町步)の地價に對する調查局の調定は九億三千九百萬圓なるもその後地價の漸騰あり十億圓位と見積りて可ならんとの記事を掲げたるが右に就有力なる不動產金融業者は曰く最近南鮮方面に於ける地價の昂騰は米高に伴なひ著しきものありその呼び値を以て時價と見積らば調査局調定の地價に比し二倍を稱し得べく然し乍ら呼び値は乃ち呼び値にして實價にあらず眞乎實買取引されつゝある時價より見るも朝鮮の地價は調査局調定より三割乃至五割の增價をなし居る事は確實なるべく恐らく朝鮮の耕地並に市街地を合計せし地價は十三億圓を下らざるべきかと語れり

## ◎浦鹽爲替成績

浦鹽と內地鮮滿間に於ける朝鮮銀行の金建爲替は先月二十日より開始せしがその後の成績等は浦鹽松田銀行部より鮮銀本店に詳報來たらざる由なるも要するに久しく屛息の狀にありし浦鹽市場も聯合軍の北進に伴ない漸次內地との商取引を復活し綿布麥粉並に食料品等輸出の出動は重品置込み等のため一部邦人間にありては幾分緊張し相應殷賑の色あれども一般市場は特產物の同業依然皆無なるため金融も振はざる如きが鮮銀にては目下試驗時代にあるに付その推移の狀況により何等か適當の手段を講ずるに至らん尤も鮮銀の浦鹽爲替開始は一部商人の間に非常なる歡迎を受け居れるが如し

## ◎黑鉛益々不況

米國の禁輸令の爲め黑鉛を原料とする坩堝の輸入は殆んど絕對的とも云ふべき程度に禁輸する事となりし結果朝鮮並に內地に於いて生產する鱗狀黑鉛はその用途を內地のみに見出さざる可からざるに至れるが何分昨年米國禁輸令の發すに從つて今日と雖も荷間への大勢にあり米國に於て禁輸令を解かざる限りその復活は望み難かるべく早く良品噸四百圓を割らんとしつゝあり然もかく價格の不況を來しつゝあるにその採礦費用は勞銀高並搬出費增諸物價高に基づき漸次高みつつあるに付採礦者は何れも手控への狀態にあり既約品を有する者の外斯業者は益不況を喞ち居れりと

## ◎鮮鐵收入激增

九月に於て特別輸送をなせし結果收入異常の增進を來したるが今京城管理局の調査に聞くに客車收入は八十二萬九千餘圓貨車收入百三十三萬餘圓合計二百十六萬圓にして一日平均七萬二千圓の巨額を示し之れを前年同期に比すれば百十六萬五千圓を增加約倍額となり居れり尙ほ一日一哩の平均收入は六十五圓三十四錢にして前年に比し三十四圓三十三錢の激增を來し居れり

## ◎下旬鮮鐵成績

八月下旬に於ける鮮鐵の成績は客車收入二十五萬零四百三十八圓貨車收入四十三萬六千四百二十五圓にして合計六十八萬六千八百六十三圓を前年に比し三十四萬六千餘圓の增收にして一日一哩收入は六十三圓二十二錢なりと

## ◎京城地圖 臨時土地

調査局にては京城府內に於ける地番入りの地圖を作製する事となり既に東京に於て製版を終りたる由に付月末までに參謀本部陸地測量部の手により發行する事となるべきが新入京者並に觀察者にとり便利多からん

## ◎京畿痘苗配付 近況

京畿道管內に於ける客月中の痘苗配付及び貫下狀況を聞くに配付數一萬四百六十貫下數七百七十四にして本年一月よりの累計額は配付具數に於て三萬五千六百六十九貫下數一萬八百二十二に達せりと

## ◎軍司令官水原行

宇都宮軍司令官は來る九日水原に下り同地方の視察を行ひ即日歸京すべきが視察目的は秋期演習の地理實查ならん

## ◎鮮銀總裁東上

鮮銀總裁美濃部俊吉氏は六日午後七時五十分南大門驛發列車にて出發東上せり歸鮮は十一月若くは十二月となるべしと

## ○兵庫農學生南行

兵庫縣立農學校生徒三十名職員に引率せられ六日朝來安各所視察の上午後七時安東發列車にて南行せり(安東特電)

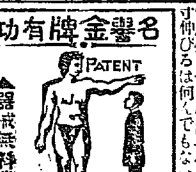
### 人事消息

▲齋原忠南道長官 六日夜入京巴城館へ
▲堤慕造氏(鮮銀浦鹽特派員) 同上不知火へ
▲中西寶久雄氏(鎭海司事) 同上
▲上林咸北道長官 六日夜入京山本へ
▲福岡農業學校 學生四十名職員一行乃萬教授以下六十一名六日夜入京原金へ
▲福井縣教育視察團 一行八名同上
▲滿鐵電氣科職員 五十三名六日夜入京
▲中村辰五郎氏(鎭南浦海運業) 六日退京
▲堀池當作氏(大邱辯護士) 同上
▲三重縣教育視察團 一行六日朝退京
▲李咸南道長官 七日朝退京の筈

### ◇鳥瞰雜俎◇

獨逸の言ひ分に依ると白耳義蹂躪も防禦の爲め佛國侵略も自衞の爲だと云ふ、日本を侵略しても自衞の爲め、倫敦を爆撃するのも防禦の爲だらう、獨逸には攻撃とか征服とかいふ文字はないらしい▲相變らずイルソン大統領の氣焰には當てられる、米國人が西伯利で何をしてゐやうと知らずに大義名分の太平樂を並べてゐられる大統領が、いつも羨ましい▲新遞相の愛嬌の野田大塊翁が新聞記者連に一句出ませんかとせがまれて例の豪傑笑ひを乍ら萬年筆を採つて曰く▲『野栽ゑ一寸不似合に床の上』何處迄も大塊て拾ふ熟柿の澁し』▲新內相の床次竹二郞君が政友會に入黨したばかりの時越後に演說にやられた▲所が君はその少し以前に腦震盪で卒倒して當時頭が非常に惡かつた、が君は入黨第一の器量を見すべき絕好の機會であつたので押して出席した▲スルと矢張後頭部がズキズキ痛む、エイ面倒なと君は氷袋を取出して頭にあてこうくやり通して了つた▲其滑稽極まる君の風姿には聽衆樂屋共にヤンヤと騷ぎ立てたものだが思へばそれが今回大臣たるの第一步であつたとの事▲新農相山本達雄君の書好きは世間に知られてゐるが『山本さ來ちや手當り次第なんだからヤりきれぬ、大臣室などでも山本の近くには紙きれ一つ置けないんだ』と同幹部の話▲京都府下與謝郡筑瀨村に楠本サンと云ふ百七歳になる老婆が居る此の老婆は娘ナカと二人暮であるが▲此の程餅屋を開業し老婆が杵を執つて三四升の餅を搗いて居るとは珍らしい健康な老婆ではあるまいか


◎小男も大男となる
人間の體格は大小二百餘個の骨で組立られ骨と骨との間には軟骨で繋められて居る器械を用ひ姿勢正しく伸せば脊の高くなる軟かい骨があるから全身の軟骨が少しづつ伸びても脊が二三寸伸びるは何んでもない今回發明

名譽金牌有功


▲器械無料貸與
人間の背も器械で伸る
伸長器を發明せられ男でも女でも今迄の所で輕便秘密に使用出來る器械を無料で貸す ハガキで申込次第說明書を無代で送る
東京京橋區入船町壹丁目 器械療法所

行李詰 死美人事件
世にも稀なる事實譚！黃金館の
家もつ人も！未婚の人も必ず見られよ

連日大入 破天荒の盛況を極めつゝある
黃金館 は早く行かねばよい場所がありません
亂れた家庭の生んだ恐しい悲劇を

法人登記公告
慶州金融組合登記事項變更
出資一口ノ金額ヲ金拾圓トス
大正七年拾月四日登記
京城地方法院議政府出張所

京城本町二丁目
新荷著大賣出し
日の丸小間物店
來ル十月五日ヨリ九日マテ
景品差上

京日案內
◎良家の上女中三十歲前後の者一人入用 希望の方は京城日報平壤支局へ書面又は來談あれ
◎電話讓り受渡し 電話二七九四番 平井へ
◎求貸家 二十圓より五十圓迄の住宅向貸家を求む (姓名 在社)
◎ほねつぎ うちみ くじき 一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場
◎外勤社員數名採用 有給 希望者は午前十時より午後四時迄履歷書持參ありたし 京城黃金町一 蓬萊生命鮮支部
◎帳場一名入用 年齡三十歲以上の者 履歷書保證人を要す 京城南大門通り三丁目 果實乾物問屋 松原鉦藏商店

旅行シーズンは今ぞ
絹製ポケツト用 高尚新型 空氣マクラ 定價 男物貳圓六拾錢 女物壹圓四拾錢
▲特價提供 男物壹圓八拾錢 女物壹圓四拾錢 (郵稅八錢)
大阪市北堀江御池通二丁目(堀江演舞場東)
ゴム製品各種 田中商店

釜山阪神間定期船開航
釜山澤山兄弟商會所有船
快速力鐵船 山光丸 (壹千壹百噸)
釜山阪神間一ケ月四往復定期運航
初航 十月十日 釜山出帆
大正七年十月五日
釜山 澤山兄弟商會 電話長七五〇番 八〇八 六番

# 妻の心　百十三

十八の四　小林蹴月作　武内桂舟畫

一字一句として、癪に觸らない個所がないほどそれほど、禮子からの絶縁状は、無禮な驕慢な痛烈的の意味を以て充されて居るのであつた。孰れは、姑と櫻井と禮子と三人協議の上の文案ではあらうが、苟にも一家の主人であり良人である處の自分に向つて、よくも這麼事が云つて寄越されたものであると、久三郎は憤慨の拳を握つたが、併し、それは相手なしのカラ憤慨であつた。天井の鼠とへも只は笑つて見れなかつたのである。

久三郎は更に駒子の二階で雜誌の間から發見した彼のお芳から欣一に宛てた秘密の文殼を取出して讀返して見た。禮子からの絶縁状とは全然行き方は違ふが、その文意の上にはより以上自分を莫迦にした莘ろ二本棒……と、平し扱ひにしたお芳の薄情な不品行な不敵な鬪々しい心持が明り/\と分かつて居るのである。久三郎は、お芳の畜生奴も只は置くべき奴ではないと思つた。

又更に、若龍の駒子の事も考へて見た。いや、考へて見るまでもなく、女には珍らしい殘忍性を備へた奴であると思つた。つゞいてその總に繋がる欣一の事も、櫻井の事も、姑の喜久子の事も、一人々々指を折つて數へて見ると、それ等が殘らず寄つて蝟つて自分一人を啖殺しに掛つて居るやうな氣が爲た。

斯う煎じ詰めて見ると、自分の周圍には只の一人も生かして置ける奴はないのである。若し生かして置けないものとすれば、一番先に叩き殺すべき奴は、誰であらう？それは矢張本妻の禮子であらねばならぬと、彼は私かに呟やいて私かに首肯いた。都合が旨く行けば、櫻井の奴も同時であると腹の底に叫んだ。

久三郎は、コップの酒を仰りながら横に寢そべり、又起き直つて何がなしに欄杆越の小庭を睨んだ。其處には丁度ドラ猫の眞黒な大きなのが、奸佞な金色の眼を光らして、小笹に止まつてゐる小鳥かなごを狙つてゐる容子であつた。久三郎には、そのドラ猫の眼さへも姑の喜久子に似たやうな氣が爲て得も云へぬ憎らしさを翳ねた。

『畜生！手前までも乃公を呪つてやがる。』

手元に在つた空瓶を摑むより早く、ドラ猫を目蒐けて投り付けたのである。狙ひは首尾好く外れて、空壜は瓦羅々々と碎けた。猫は左樣ならとも何とも云はずに、のそ/\と姿を隣屋敷へ隱して了つた。

と、此の物音に驚いたのであらう、階下から大急ぎに駈上つて來た者がある、多分は此の家の女將か女中かの中でならうと、久三郎は大積りに高を括つて胸息に片肱を凭せかけた儘泰然として控へて居ると、襖を開けて其處へ坐面を差出したのは女將でもなければ女中でもなかつた。但し、四十恰好の油氣の抄い髮をいほじり卷にした女である事は酩酊の久三郎にも分つた。

『旦那樣、只今の沓音は彼りや、何かお投り遊ばしたんで御座いますか？』

敷居の外へ兩手を支ながら、氣遣はしさうに女は云ふのであつた、

『うむ、一寸今無聊の餘りでね、戯談半分猫に抛擲つて見たん……だよ。』と、云ひながら初めて、久三郎は染々と女の顏を視やつたが

『ヤツ、お前はッ……。』と、

ばかり二度吃驚！道理や、此の女こそは、三箇月前に喜久子と衝突の結果町川家を放逐せられた古參のお俊なのである。

『旦那樣、何時も御機嫌よろしうお在遊ばしましてお目出度う御座います。』とお俊は、涼醒したる瞼を抑へる。

『驚いたね、お俊、お前が何うして這麼所へ現はれて來たんだ？』

『何うしても御座いません。一昨夜の大暴風雨の前から、旦那樣の影身にお附き申して居りましたが、漸く只今お目に懸る事が出來ましたんで御座います。』と、お俊は何時に變らぬ正直の涙を、ほろ/\。

## ◎母の愛

＝で育てたい　女中任せは育兒に惡い

母と子は離るべからざるもの父すべからざるものである然るに日本の家庭に於ては其の家庭が大きければ大きい程母と子とは離れ勝である

▼身心羸弱 の母は止むを得ずとするも左もないものは自分の子は自分で育てる勇氣と習慣とを養成しなければならぬ今日の或では中流以下の所謂其日暮の家庭の子は母親に育てらる・が中流以上の子になると萬事女中の手で育つ樣な風習になつて居る

▼今更女中 を排斥するではないけれども若し母親が相當の教育があつて健康體であるならば學校の送り迎へから入浴の世話まで大概のことは母親がしたならば其の子の爲めにドンナに幸福であらうか

▼此の點に 關し記者は曾て某氏夫人（獨逸人）の活動的で經濟的な話を聞いた事があつた其の話に依ると夫人は朝に子供を某校に送りて歸りには本郷の大通りか但しは日本橋邊まで出かけて買物をなし午後の放課時刻に至つて又復學校に子供を迎へに行くのである此が同夫人の日課であると聞いたとがあつた

▼其れのみ ならず同夫人は非常に子女の教育に熱心で子供の送り迎への傍ら時々受け持教師について子の性癖や學課の甲乙を能く聞き正し努めて其の缺點を補ふとに氣を配るのである朝夕子供の送り迎へから市場に出で、躬ら買物をする實に活動的でまた經濟的であるさうして家の掃除などは卻つて女中任せにして夫人自身は成るべく家庭の重要用務にのみ從はらうと力めるのである

▼所が日本 の婦人は其れの反對で上流の夫人位になると買物などに出るのはキマリが惡い學校に子供を送り迎へする等もキマリが惡いと思つて萬事女中委せで家に据はり込むのが當り前へ思つて居る

▼斯ういふ 風に女中委せに子を育て・其の子が果して滿足に成長するだらうか如何に親切な女中でも生んだ母親程の愛のあらう筈はないとを思はば母として子を女中任せにすることは惡いに極つてゐる

▼三ツ子の 魂百までの譬への如く幼少の時代の教育は父母共に注意して子女を成るべく同情心に富んだ而も勇氣のあるものに育てなければならぬ夫には家庭の母は實際に其の子の教育に當りまた子女の擁護人となつて學校の送り迎へから外出の時は父母のうち何れか子に附隨する習慣をつけねばならぬ

## ◎獨逸から學ぶ事

▽は頗ぶる　▽多い＝

敵國であるが獨逸から學ぶべき事は頗る多い特に獨逸人の子供を教養するに頗る周到の注意を與へてゐることは實に驚く程である、獨逸では宗教上の儀式で生れると直洗禮を受けさせ更に十四五歲の時に堅信式といふものを受けさせる此堅信式は日本で言へば

◇元服 と云つたやうな事で是れを受けると始めて子供から青年になる、此堅信式を受ける迄子供は大人と截然たる區別が立て、あつて親の行く處へ子供が行き度いと云つても親は決して連れて行かない如何にも親が無情であるやうだが其處に親の嚴格が行はれてゐるのである、又此堅信式を受けない迄は子供は下男下女からにさへ

◇お前 と呼ばれて之を自由に使ふ事を許されない、而して自分の事は自分で處理して決して他人の手を借らない習慣を附けてある、此の幼少の時からの獨立自治の習慣が大人になつても拔けずにある、日本の男子が大人となつて著物一枚著るのでも下女下男や妻の手を借りるのは畢竟するに此幼少の時からの獨立自治の

◇氣風 を養つてゐないからである、夫から學校に通ふやうになつても父兄は何時でも教師に對して教育上の註文をする事が出來るやうになつてゐる之れが爲め擔任の教師は一日の中に一時間宛は其の生徒の父兄に面會する時間を作つてゐる程である斯く學童の父兄と學校とが

◇密接 な關係を保つて居る丈けに社會が教育に對して常に後援を怠らぬことも想像以外である此の兒童の教育に關する十分の注意が又實に今日のやうに獨逸が世界を敵として戰つて尚ほ且つ屈しない譯でゝあるまいか（某教育家談）

## ◎障子の貼替

隙間洩る秋風が身に沁む頃　▽何處の家庭でも急がれる

隙洩る風がうすら寒く障子貼を急がねばならぬ時節となりました或る經驗に富んだ經師屋の話に障子を貼るには先づ障子の骨を綺麗にする必要があると云つて紙を剥ぐと直水をジャブ/\掛て洗ふ人がありますが之は良いやうに見えて▲其實感心した方法ではありません、ツマリ斯樣にすると障子の骨が荒んで保ちが惡くなりますから上等の障子などになると殊更此の方法は禁物です又安物にしてもこんな事をするとザラ紙を貼らうとする時骨に糊が充分著きませんから紙を貼つても後でアクブクします其れ故紙を剥がしたら面倒でも雜巾で一々骨を拭くやうにします稍る雜巾で拭いた位では紙が綺麗に除れませんが併し幾らか紙の殘つてる方が却て糊が良く利きます▲次に糊は薄く溶く方がよく紙は貼らない中に薄く霧を吹きながら卷返して置くが良いとします貼つてからは別に霧を吹くには及びません素人は貼つてから霧をかけるので一時は紙が伸びますが長持をしません』

皮膚科 外科 專門 扇田醫院 京城太平通二丁目 電話二二五八番

## 讀者の領分

▲貴紙朝刊掲載小說『迷路』を日々愛讀しておりますが、餘りに哀れな主人公に同情して居る作者ますく\奮勵せられよ（切望生）▲切望生に第ふ御聲援にて迷路病者に内地に赴き居り『内容意に添ふ事得る方法を講ずべし（係り）▲在京學生の公德心のない事が書いてありましたがあれは京城と京元線共同様です乘客が仕方がないと思つて我慢して居ますが偶々乘ると非常に不愉快に感じます學校でも少し之等の生徒に注意して戴きたいと思ひますそれでないと此の頃は腸傳染の虞があります殊に眞面目な新入生を惡化します（非常にお願する一婦人乘客）

◎耐火煉瓦會社發株好況　栗原省吾岡田博士を發起人總代として九月廿六日より一部公募に着手したる白山耐火煉瓦株式會社は本邦に於ける煉瓦研究の第一人者たる理學博士川村精一氏が顧問として實際に當り指導の任に當ちる〻も其原料たる硅石が『セーゲル』三十四番以上の優良なる產地を占有せることに依り公募發表前より非常の好景氣なりしが三十日には既に三倍を超過したれば〆切迄には優に十倍以上に達すべしと

◎獨逸勃國懷柔 ……（以下判讀困難）

□縣個人募集規定

□募集規定

# 光榮ある御化粧料　三十六種の内

桃谷研究試驗所製

# 美顏水

## 白粉の使ひ方と垢ヌケ

間違なくお化粧の困難を取去り、すらすらと勞なく、濃化粧なり、薄化粧なり、思ふ通りに氣持よく美しくお化粧なさるには、美顏水で白粉を溶き延ばしてお使ひなさるのが一番確かな良い方法である事は、大多數の方が御承知の事でございます。美顏水の此の力は全く外に例がないと申しても過言で無いと桃谷研究試驗所では確く信じて皆樣にお薦め申して居ります

事實 どのやうにお化粧のしにくい方でも、美顏水で白粉を溶き延ばして御覽なさいまし、それこそ全く思ひの外で、「化粧困難」といふ事はすつかり忘れて終ひます。白粉は何の苦もなくすらすらと良くのびて思ふ通りに附き、それに何とも言へぬ美しい光澤が添ひますから、その上品な高尚なお化粧榮ゑは又格別でございます。それからよく

垢ヌケした方 と言はれる方があるものですが、垢ヌケして美しくなるのには美顏水を常用するのが一番よいといふ事も、大多數の方が御承知の事でございます。これは美顏水には桃谷研究試驗所で發見致しました或る美容成分が入つて居りますので、之れが皮膚の新陳代謝を活潑にして、顏の生地が常に活々と、新しく清く保たれる作用を致すのでございます。美顏水の此の「垢ヌケ」の作用は白粉のトキ水としての作用と共に、またと外に無いものと言はれ益々盛に世の御愛用を蒙る種となつて居ります。この外に美顏水には

◇チバリ氣なしに荒れを防ぐ作用が備はつて居りますので、チバリ氣をお好みにならぬ方々によく、また◇蚤、蚊、南京虫などの毒のある虫に螫された時にも、美顏水を附けますと皮膚が大變に氣持よく、その毒を防ぎ、螫された後が腫物などになりませんので、お子方のある御家庭などには殊にお喜びを蒙つて居ります。◇尚、にきび、吹出物などでお困りの方には別に「にきびとり美顏水」が御座いますから其れをお薦め申し上げます。

◇美顏水……定價拾五錢　廿五錢　五拾錢　壹圓
◇にきびとり美顏水　定價拾五錢　廿五錢　五拾錢　壹圓

新美容成分を完成したる
桃谷研究試驗所

▲所長　藥學士　桃谷幹次郎
▲技師　理學士　西澤勇智志
▲同　醫學士　米倉昌達
▲同　藥學士　小磯助次郎
▲同　千葉藥學士　齋藤銳助
▲顧問　藥學博士　丹波敬三氏
　　　醫學博士　山本淳二氏


大阪商船汽船出帆
（仁川出帆）
群山木浦大阪行 安東丸 十月十二日正午出
×信濃川丸 十月十四日正午出
（元山出帆）
浦津行 安平丸 十月十六日後十二時
釜山門司宇品神戸大阪行 宮島丸 十月十日後九時出
（大連出帆）
上海、基隆、打狗行 湖北丸 十月十九日前六時出
基隆丸 十月卅一日後六時出
内地各港出帆主要航路
歐洲行 一年四回　北米行 毎月二回
南米行 一年四回　孟買行 毎月一回
濠洲行 毎月一回　南洋行 毎月一回
御注意 ◎外國航路ハ五分引ヲ以テ運賃割引致シ ◎朝鮮鐵道及南滿洲鐵道ト連絡一切ノ船客及貨物取扱致候 ◎船客御仕度ノ爲メ日本郵船ノ一船中一時間前ニ御乘船被下度候
大阪商船株式會社仁川支店 電話七〇八番
京城南大門通 京城支店 電話二六一番
仁川本町 内外運輸組合 電話二四番
京城 群仁代理店 電話七二二番

尼崎汽船仁川出帆
大阪行直行 赤城丸 十月十日後四時出
群山木浦下ノ關大阪行 大有丸 十月六日後四時出
群山木浦下ノ關大阪行 君が代丸 十月　日後四時出
仁川海岸通三丁目（電話五九番）高杉回漕部

朝鮮郵船出帆廣告
天候其他ノ都合ニ依リ發着日時變更スル事アルベシ詳細ハ本社又ハ各地支店出張所代理店ニツキ御承合被下度候
▲敦賀行 清津、城津、元山經由
平安丸 十月五日 清津發 元山發
▲浦汐行 大阪發、門司、釜山、元山、城津、清津經由
越後丸 十月十三日 釜山發 十月十五日 元山發
▲雄基行 関門六、釜山、各港經由×印江原道寄港セズ
×京畿丸 十月十二日 釜山發 十月十五日 元山發
成鏡丸 十月七日 釜山發 十月十一日 元山發
▲元山雄基線 元山起點各港經由雄基
隱城丸 十月九日 元山發
▲大阪行 浦項、鬱陵島、境、神戸經由
忠清丸 十月十八日 元山發 十月二十日 釜山發
▲関門行 雄基發、清津、城津、元山、浦項經由×印ハ江原道不寄
×忠清丸 十月五日 元山發
雄基丸 十月十二日 元山發 十月十六日 釜山發
▲金剛山遊覽便 元山發遊覽地經由長箭 毎月六回四日目六月五月十日間
隱城丸 十月七日 元山發
▲鬱陵島行 釜山發浦項及各地經由
強徳丸 十月八日 釜山發
▲釜山浦項線 釜山發長生浦、方魚津、九龍浦經由 浦項間毎五日ヨリ毎日一回出帆
▲濟州島行 釜山發麗水、莞島、巨文島經由
昌平丸 十月八日 釜山發
▲濟州島行 木浦發東廻ハ西廻ハ島及楸子島經由
東廻 公州丸 十月九日 木浦發
西廻 慶興丸 十月六日 木浦發
▲釜山麗水線 釜山、麗水間往復 毎日一回出帆
▲木浦麗水線 釜山行麗水ニテ接續
順天丸 十月四日 木浦發
▲多島海行 木浦發多島海各島行
公州丸 十月十四日 木浦發
▲木浦行 仁川發各地經由
全州丸 十月五日 仁川發
▲海州行 仁川發江華島經由
仁川、海州相互ヨリ毎日一回出帆
▲鎮南浦行 仁川發各港經由
江田島丸 十月九日 仁川發
▲大連、青島行 仁川發芝罘經由
江原丸 十月六日 仁川發
○朝鮮鐵道及社外船ト荷客連絡ノ便アリ
本社 京城南大門通 電話（長一九五二、二一三三）
釜山支店　元山出張所　仁川代理店　木浦代理店 山野回漕部　京城大東陸營代理 松原運送店
其他各寄港地ニ荷客取扱店アリ 電話長一一七〇